

再び。
ここに



 第57回

旭川北高等学校同窓会 

旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会

とき／2023年8月11日(金・祝) 午後6時より

ところ／アートホテル旭川

3階ボールルーム〈旭川市7条通6丁目〉



市中



市高



北高

主催/第57回旭川北高等学校同窓会実行委員会

第57回 旭川北高等学校 同窓会総会

◇総会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 校 歌 斉 唱
3. 来 賓 紹 介
4. 同 窓 会 会 長 挨 拶
5. 来 賓 挨 拶
6. 議 長 団 選 出 事
7. 議 事
 - (1) 会 務 報 告
 - (2) 会 計 報 告
 - (3) 会 計 監 査 報 告
 - (4) 役 員 改 選 に つ い て
 - (5) 次 期 当 番 期 紹 介
 - (6) そ の 他
8. 議 長 団 退 任
9. 招 待 期 へ の 記 念 品 贈 呈
10. 閉 会 の こ と ば

◇懇親会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 実 行 委 員 長 挨 拶
3. 開 演
 - (1) 応 援 歌 斉 唱
 - (2) 乾 杯
 - (3) 抽 選 会
4. 次 期 当 番 期 代 表 挨 拶
5. 閉 会 の こ と ば
6. 結 び (北 高 万 歳 三 唱)

応援歌

ねつせるちしおやけんじのき そのなもた一かききたこうの
 えいーよ さんたり わがともーよ
 たたかわん いきーも ひのごとし

応援歌

高橋国二 作詞
 熊崎清志 作曲

一、熱せる血潮や 健児の気
その名も高き(北高)の
 栄誉燦たり 我が友よ

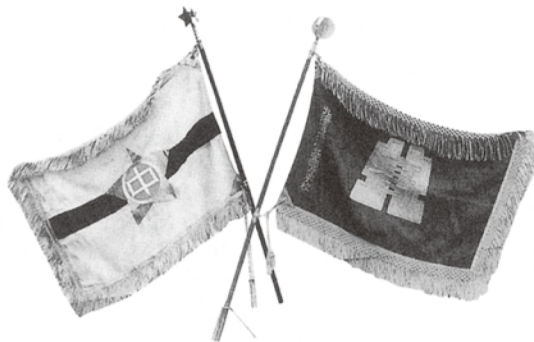
戦わん意気も 火の如し

二、見おや祖国の 中堅と

その名も高き(北高)の 鍛えあげたる 我が選手
 邀える敵も 何のその

三、青空高き

グラウンドに 優勝の旗うち振りて 天にも轟く 万才の 勝関あげむ 我を見よ



旭川北高同窓会だより 第46号 令和5年8月11日発行

発行所／旭川北高等学校同窓会（旭川市花咲町3）

発行人／同窓会会長 山本 淳一

編集／旭川北高等学校同窓会文化部・旭川北高等学校同窓会第57回総会実行委員会

印刷／東洋（株）旭川市末広東1条4丁目8-35 大道警備保障(株)ビル2F TEL 0166-85-7350

校歌

明るく普通の速さで

1.あ た ー ら し ー き ぶ ん か り ー の は な の さ
 3.か ぐ ー わ し ー き み ど り ー の ゆ う べ は

ん ー ら ん と の や が て か お ら む み
 く ー よ う の き ば な さ く あ さ み ま

ず ー き ー よ ー く や た ま ー む ら さ き ら に が め
 ゆ ー ひ ー い ー で や ま ー す む さ こ ら が ま

ぐ ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ
 ど ー い ー し ー て ほ ま べ れ を う た う み

ふ る る よ ろ こ こ び い ざ て を と り て や
 よ み よ そ こ く の ゆ く て は あ ら た や

む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む
 む な き ー の ぞ み に ひ か と り を そ え む

校歌

木村五一 作詞
 津田甫 作曲

一、

新しき文化の華の
 燦爛とやがて薫らむ
 水清く山紫に
 めぐりたる学びの庭よ
 溢れる歡喜いぎ手を把りて
 止むなき向上に真理を尋めむ

二、

逞しき腕の力は
 遠つ代の祖に承けたり
 汗あゆるその勤勞の
 成せる郷土豊けき穰
 とこしへ榮行くこの世に生きて
 止むなき教養清純を讃めむ

三、

かぐはしき緑の夕
 白瑤の樹氷咲く朝
 眉秀で魂澄む子等が
 まどみして譽を謳ふ
 見よ見よ祖国の前途は新
 止むなき希望に光明を添へむ

2023年 旭川市中・市高

北高同窓会 会誌

content

- ① 同窓会会長あいさつ
- ② 学校長あいさつ
- ③ 令和4年度会務・会計報告
- ④ 同窓会規約
- ⑤ 東京・札幌同窓会から
- ⑥ 恩師の近況
- ⑪ 特集「同窓生の活躍」
- ⑳ 招待期
- ㉒ 同期の今
- ㉓ 今春の進路状況
- ㉔ 北高NOW（部活動報告）
- ㉙ 同窓会役員・幹事名簿
- ㉚ 実行委員長・次期当番期あいさつ
- ㉛ 旭川北高同窓会公式ウェブサイト



北海道旭川北高等学校同窓会会長

山本 淳一
(北高28期)

会員の皆様、旭川北高同窓会活動に深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和元年8月に同窓会長を拝命して4年となりますが、コロナ禍のため昨年本会同窓会総会は3年連続見送りとなりました。同窓会長として皆様には大変申し訳なく思っておりました。

そんな中、本年当番期であります46期の上北泰志委員長をはじめとする実行委員会の皆様には実際の参加体験もない状態での企画や打合せでご苦労をかけたと思いますが、「ここに再び。」というテーマをもって第57回旭川北高同窓会が8月11日(祝)に開催される運びとなりました。手探りの状態からの開催、本当に多く

の苦労があったと思います。当番期の皆さんには改めて感謝申し上げます。

そして昨年45期の皆さんのご努力で「北高創立80周年記念事業」として北高正門のとなりで北高で活躍した生徒や部活動の足跡を掲示する常設看板を作成・寄贈する事業を行いました。本来は2020年に創立80周年でしたが、コロナ禍で2年遅れにはなりましたが同窓会としての創立80周年事業ができることとなりました。これも45期の皆様のご協力があったこそだと思っております。今まで他校ではこのような看板があるのに北高にはない現状に不満を抱いていた

在校生、同窓会の方々も多数おられると思います。国道から車からも徒歩でもしっかり見える位置に横7メートルの看板が立ちました。

母校北高の話になりますが2023年3月卒業生は阪大、東北大、九大をはじめとする国立大に176名の現役合格者を出しております。そして3月1日に卒業式が行われ全日制・定時制を合わせて241名が母校を巣立ちました。市立旭川中学校からの通算卒業生は2万8千名を超えました。卒業生には同窓会行事にも興味を持って参加していただきたいと思います。

最後に母校北高のますますの発展と北高同窓会の繁栄並びに会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。代えさせていただきます。



北海道旭川北高等学校校長

木幡 かおる

ごあいさつ

北海道旭川北高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より山本淳一会長様を中心とした皆様より多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

同窓生の皆様をご存じのとおり、歴史と伝統ある北高の生徒は勉強も部活動もよく努力しています。「勉強と部活動、どちらも一生懸命に取り組むという覚悟で入学してきているのだから、努力してさらに自分のレベルを高めていくことは当然です…それが『北高イズム』です…」と、同窓生でもある本校の教諭が話

していました。このような考え方が北高の根幹にあり、それに応えようと実力を培うことで、強い自信と信頼関係が育ち、最後の最後まで粘り抜くことができるのだと思います。

この春の卒業生は、詳しくはホームページでご覧いただきましたのですが、全日制では約7割の生徒が国公立大学に現役で進学するという快挙を成し遂げました。この結果の秘訣は何か。といった問い合わせが既に数件来ています。定時制では、中学校へは通学も苦しかったが高校で学ぶことの楽しさに気づいて皆勤賞を受賞し、専門学校に進学した生徒もいます。どちらにも積極的に生きる生徒達がい

ています。

エネルギーをもらえます。部活動では、3年ぶりに、以前のような大会運営がなされ、定体連バドミントンでは、男子1名が個人戦2位・女子1名が個人戦3位でそれぞれ全道大会に出場します。全日制も多くの部活動が高体連全道大会へ駒を進めている素晴らしい状況ですが、特にサッカー部が地区優勝、剣道の女子団体が優勝、男子団体が2位で全道大会へ進出することが、私学が強い地域であるだけに、殊の外うれしく印象に残っています。

今年度は、全日制が一間口減の5クラスになったため200名が定員となり、定時制は16名が入学し、5月末現在、全日制

669名・定時制41名の生徒が在籍しています。

これからも同窓の皆様が温かい励ましに込められるべく教育活動に力を尽くしていきます。

どうぞ今後も変わらぬお力添えをよろしくお願いいたします。

令和4年度会務報告

令和4年

| | |
|------------|--------------------|
| 8月27日 (土) | 各期幹事長会議 |
| 9月4日 (日) | 会計監査 |
| 10月29日 (土) | 当番期引き継ぎ(45期から46期へ) |
| 12月6日 (火) | 北高常設看板設置作業完了 |

令和5年

| | |
|-----------|----------------------------|
| 1月28日 (土) | 各期幹事長会議・新年会 |
| 2月 | 同窓会誌発送作業 |
| 2月28日 (火) | 同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席 |
| 3月1日 (水) | 卒業式 会長出席 |
| 4月8日 (土) | 入学式 欠席 |
| 5月27日 (土) | 各期幹事長会議 |
| 7月1日 (土) | 役員・当番期実行委員会での打ち合わせ 会計監査 |
| 8月11日 (祝) | 北高同窓会総会・懇親会 |

令和4年度一般会計決算書 [2022.8.1 ~ 2023.6.30]

■収入の部

(単位:円)

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 摘要 |
|---------------|-----------|-----------|---------|----------------|
| 1 繰越金 | 1,434,684 | 1,434,684 | 0 | |
| 2 同窓会費 | 1,193,000 | 1,193,000 | 0 | |
| ① 入会金 | 711,000 | 711,000 | 0 | 237名×3,000円 |
| ② 終身会費 | 482,000 | 482,000 | 0 | 241名×2,000円 |
| 3 ホームページ運営管理費 | 0 | 250,000 | 250,000 | 第56回実行委員会より寄付受 |
| 4 雑収入 | 10 | 11 | 1 | 貯金利子 |
| 合計 | 2,627,694 | 2,877,695 | 250,001 | |

■支出の部

(単位:円)

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 摘要 |
|----------|-----------|---------|-------------|---------------------|
| 1 総務費 | 1,090,000 | 718,018 | ▲ 371,982 | |
| ① 事務費 | 20,000 | 13,646 | ▲ 6,354 | 消耗品費 |
| ② 会議費 | 200,000 | 141,955 | ▲ 58,045 | 役員会、幹事長会等開催費 |
| ③ 通信費 | 100,000 | 26,750 | ▲ 73,250 | 切手、はがき、電話 |
| ④ 印刷費 | 20,000 | 10,260 | ▲ 9,740 | 会議開催案内状等印刷費 |
| ⑤ 慶弔費 | 30,000 | 0 | ▲ 30,000 | 香典、生花、弔電 |
| ⑥ 支部活動費 | 160,000 | 100,000 | ▲ 60,000 | 東京支部活動費 |
| ⑦ 広報費 | 240,000 | 182,600 | ▲ 57,400 | 同窓会ホームページ年間管理・運営費 |
| ⑧ 卒業記念品費 | 260,000 | 219,967 | ▲ 40,033 | 卒業生記念品(241名)、アルバム寄贈 |
| ⑨ 後援会事業費 | 30,000 | 0 | ▲ 30,000 | 学校祭協力費 |
| ⑩ 雑支出 | 30,000 | 22,840 | ▲ 7,160 | 振込手数料、雑費 |
| 2 文化費 | 330,000 | 50,000 | ▲ 280,000 | 文化活動費 |
| 3 予備費 | 1,207,694 | 0 | ▲ 1,207,694 | |
| 合計 | 2,627,694 | 768,018 | ▲ 1,859,676 | |

■収支決算

(単位:円)

| 収入額 | 支出額 | 残高 |
|-----------|---------|-----------|
| 2,877,695 | 768,018 | 2,109,677 |

残高 2,109,677 円は次年度へ繰越

■令和4年度特別会計決算書

(単位:円)

| 収入の部 | | 支出の部 | | 残金 |
|----------------|---------|----------------|---------|-------------------|
| 前年度繰越金 | 380,521 | 第56回実行委員活動資金貸付 | 200,000 | 次年度へ繰越 228,983 |
| 第56回実行委員活動資金返還 | 150,000 | 第57回実行委員活動資金貸付 | 300,000 | |
| 第56回実行委員活動資金返還 | 200,000 | 事務費用 | 1,540 | |
| 貯金利子 | 2 | | | |
| 合計 | 730,523 | 合計 | 501,540 | |

■令和4年度同窓会資産決算書

(単位:円)

| 累計額 | 収入額 | 支出額 | 合計累積額 | 摘要 |
|-----------|-----|-----|-----------|-------------|
| 8,556,148 | 12 | 0 | 8,556,160 | 積立額(郵便貯金利子) |

■令和4年度同窓会記念事業基金決算書

(単位:円)

| 累計額 | 収入額 | 支出額 | 合計累積額 | 摘要 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 1,913,346 | 1,000,014 | 1,300,880 | 1,612,480 | 第56回実行委員会より寄付受(100万円) ※内80万円は北高看板設置費用として寄付受 財団法人旭川北高会へ寄付(10万円) 北高看板設置費用(120万円) その他事務費用 |

北海道旭川北高等学校 同窓会規約

●第1章 総 則

- 第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。
- 第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

●第2章 事 業

- 第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。
 - (1) 会員の親睦を図ること。
 - (2) 会誌及び会員名簿の発行
 - (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

●第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。
 - (1) 旭川市立中学校卒業生
 - (2) 旭川市立高等学校卒業生
 - (3) 旭川北高等学校卒業生
 - (4) (1)(2)(3)各号以外(転・退学した者)で、本会に入会を希望する者。

●第4章 顧 問

- 第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。
- 第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

●第5章 役 員

- 第8条 本会に次の役員を置く。
 - (1) 会 長 1名
 - (2) 副 会 長 若干名
 - (3) 会計監査 3名
 - (4) 総務部長 1名
 - (5) 総務副部長 若干名
 - (6) 会計部長 1名
 - (7) 会計副部長 若干名
 - (8) 文化部長 1名
 - (9) 文化副部長 若干名
 - (10) 幹 事 長 各期毎1名
- 第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。
- 第10条 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。
- 第11条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時制にあつては幹事長のみとすることが出来る。
- 第12条 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。
- 第13条 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。幹事は、各組の取りまとめにあたる。
- 第14条 会計監査は、総会において会員のなかから選出する。ただし、再選を妨げない。
- 第15条 会計監査は、本会の経理を監査する。各役員任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

●第6章 総 会

- 第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは議長これを決す。
- 第14条 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。
- 第15条 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。
- 第16条 臨時総会は、会長が必要と認めるときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。
- 第17条 総会は、次のことを審議する。
 - (1) 会務の報告
 - (2) 決算の承認
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員を選出
 - (5) その他必要な事項
- 第18条 総務部、文化部長及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。
- 第19条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長がこれを決する。
- 第20条 会員は、役員会に出席して意見を述べることが出来る。
- 第21条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。
 - (1) 総務部
 - ア 総会及び役員会に関すること。
 - イ 規約の改廃に関すること。
 - ウ 本会の渉外事務に関すること。
 - エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。

●第7章 役員会及び幹事長会

- 第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部長及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

●第8章 会 計

- 第19条 本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもってあてる。
- 第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

●第9章 事 務 局

- 第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。
- 第22条 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

●第10章 規約の改正

- 第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。

| | | | |
|---------------------|-------|----|------|
| 第5条4項 | H 4. | 8. | 8改正 |
| 第7条 | H 7. | 8. | 12改正 |
| 第9条 | H 9. | 8. | 9改正 |
| 第13条2項 | S 58. | 8. | 13改正 |
| 第13条2項 | S 57. | 8. | 4改正 |
| 第19条 | S 53. | 9. | 2改正 |
| 第19条 | S 63. | 8. | 7改正 |
| 第19条 | H 2. | 8. | 11改正 |
| 第4条・第8条・第10条・第11条 | H 4. | 8. | 8改正 |
| 第15条・第17条・第18条・第20条 | H 4. | 8. | 8改正 |
| 第22条 | H 4. | 8. | 8改正 |

東京同窓会のSDGsを目指して

東京同窓会会長
柿林 博司
(北高 22期)

待望の東京同窓会を今年4年ぶりに開催します。どこの同窓会にとっても、コロナ禍の間は長くて辛い時期であったと思います。当同窓会も、これまでの繋がりをおかして持続するか、とても悩みました。

東京同窓会を持続かつ発展させるためのSDGsとして、何をすれば良いか？まず、役員が都心に集合しなくても合し運営議論できるように、ビデオ会議ZOOMを導入しました。当初は、役員の半分位しかZOOMに接続できなかったり、会議途中で急に切断したりで苦労しましたが、今は手慣れたもので、会議資料を画面共有しながら議論できるまでになりました。

次に、各期幹事や会員との繋がりをどうするか？

この場合、数百名かつ半世紀に渡る世代の会員とスムーズにZOOM接続することは到底無理です。そこで、往復葉書により、コロナ禍での同窓会開催についてアンケート調査やその結果報告をしたり、同窓会延期決定後の再開方針を伝

えると共に近況を伺ったり、会員の元気確認も兼ねました。返信葉書には、早期再開の希望がたくさんある一方で、開催や出席ができなくても同窓会が存在するだけで意義があるとの声もありました。それらから同窓会の必要性や重要性を痛感した次第です。また別な繋がり手段として、本部の当番期実行委員がコロナ禍で苦労しながら作成してくれた同窓会誌を送り、母校や同窓生の活躍を伝えることもできました。コロナ禍は、同窓会の目的や運営について改めて考える機会になりました。

今後の同窓会SDGsには、新しい期の幹事や若手会員の増強が必須です。しかし、東京同窓会には当番期制度が無いので、新会員を募集する術が極めて乏しいという課題があります。そこで、本寄稿を依頼してくれた実行委員会に、思い切った関東在住の同期紹介をお願いしたところ、快く引き受けていただけました。今の若い世代のネットワークは素晴らしく、あっという間に新幹事が見つけられました。感服した次第です。ただ、個人情報保護が重視されている現代では、名簿作成自体が難しくなっています。時代に合った会員増強ツールとして、フェイスブックとグループフォームを併用した、同窓会案内や入会処理ができるシステムを構築中です。東京同窓会は、これからも不易流行なSDGsを目指していきます。

会いたい人に会いたい時に会う

札幌同窓会会長
山川 広行
(北高 25期)

事だということです。彼の意志を継いで札幌での同期会を開催することができて、とてもうれしく思っております。私にとっても、気持ちの整理ができましたし、これからの心構えをしつかり持つことができました。と思います。

今年の札幌同窓会も4年ぶりに開催します。コロナの影響もあって、なかなか会いたいと思っても会えなかった同期、先輩、後輩に会えます。思う存分語りましょう、飲みましょう、笑いましょう。そして、皆で話し合っ、やりたいことをぜひやりましょう。会いたい時に会う、やりたい時にやる、そんな精神で旭川北高の同窓生の皆さんの絆を、今まで以上に強く、より太くしていきます。末筆になりましたが、旭川北高同窓会の益々のご発展と同窓生皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

暗い話で恐縮ですが、昨年10月と12月の2か月の間に、旭北野球部同期のチームメートの二人が故人となりました。一人は旭川在住の主将、もう一人は札幌と一緒に野球をやったり、ゴルフ、麻雀、飲み会、同期会をやったりして、一緒に楽しんだ同期のチームメートです。彼はいつも幹事役で、彼がいたからこそ、野球部の仲間、同期の仲間たちが集うことができたと思っております。そんな彼が企画していたのですが、コロナで延び延びとなっていて、彼の生前には行えなかった札幌での同期会を6月24日に開催しました。本州からも旭川からも集まりました。先生お一人を含めて四十名近く集まりました。楽しい時間を過ごすことができました。仲の良い友人二人を亡くし、この歳になって痛切に感じたことは、会いたい人に会いたい時に会う、やりたいことをやりたい時にやる、そのことの大切さです。躊躇してはいけない、実行することが大

北高の想い出

学年主任 清水 民雄



この度は北高同窓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。早いもので全定合せて二十年勤め、退職してから十六年が経ちました。脳裏に去来する思い出は数多くありますが、特に印象深い三つのことを書かせていただきます。

一つ目は、赴任した時の入学式で合唱部がお披露目した北高校歌を初めて聴いた時、メロディーと歌詞の美しさに身震いするほど感激しました。それ以来、唱歌・寮歌と共に私の愛唱歌の一つとなりました。

二つ目は、今年ハイインターハイ全国大会が北海道で開催され、旭川でも幾種目か行われるとのことですが、三十五年前、北高が当番校でアーチェリーの大会を担当したことです。

私は小さい学校から赴任したばかりで、こんな大きな大会を運営する一係として不安だらけでした。しかし、ベテランの先生方の企画・指示に、係生徒のテキパキとした動きで、大会は成功裏に終えることができました。

この後、毎年行われる大小の当番校でも北高の生徒の評判は良く、雨のスタルヒンでのグラウンド整備は他校の先生方から大いに賞賛されました。

三つ目は、私は朝型人間で、誰にも邪魔されず静寂の中で仕事をする方なので、いつも朝早くに出勤していました。

二月の中頃だと思うのですが、晴れた厳寒の早朝、校舎を見回ると二階の中央階段の窓から朝日が差し込み、長い廊下を真っすぐ伸びて職員室の入口に届いた光景です。まるで映画の一場面のような奇跡で、毎年私の秘かな楽しみでした。今、少子化や国際紛争など取り巻く環境は厳しいですが、伝統に根ざした北高が今後も試練を乗り越えて、絶え間なく発展されんことを強く願っております。

突然の案内に

3年1組担任

篠原

徹

突然の案内。コロナ禍の中で驚きと安堵。早速、アルバムを取り出し、一ページから丁寧にめくったが、数年前にタイムスリップするには簡単ではなかった。

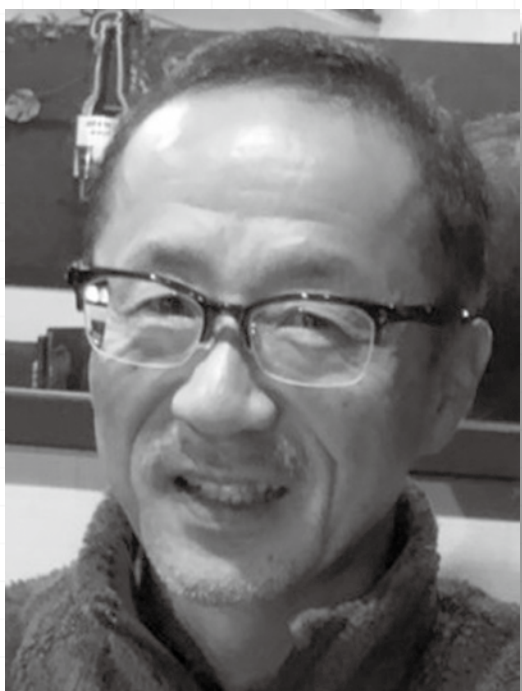
まぼろに出てくるイガグリ頭。セーラー服姿の清楚な女子生徒。それが三十数年後の今、そんなあどけない顔を持つ子供達を育て中の親になっている君達と再会できる喜びと楽しみに心を躍らせています。

高齢にとって生きづらくいしくみの中で、83歳まで生きてきた者にとっての余禄と思う。



人生は思うようにいかない

3年2組担任 松本 和雄



北高に勤務していたのは30代、40代。あの頃は、自分が定年の日を迎えるとは考えてもいなかった。今年の1月で62才を迎えたが、年齢はその数が増えただけではなく、確かな変化を与えていた。当時生まれた子どもは社会人となり親元を離れ、現在は妻との二人暮らし。「意欲」「外見」「思考傾向」…受け入れたくない現実も多く、数え上げたら切りがない。

50才を迎えた年の元旦、思い立ったようにランニングを始めた。老いていく日々、少しの変化と自信を持ちたかったのかもしれない。自慢話になるが、今でもハーフマラソン、フルマラソン、100kmマラソンを走っている。近頃はこの趣味にさえ縛られ、負担を感じ始めているが…。

残された人生も少なくなり、日々の大切さをあらためて実感している。そんな現実の中で、「いつかまたインドに行つてやる」という気持ちくらいは持ち続けていたい。

旭川北高は46期と共に

3年6組担任

安田富久一

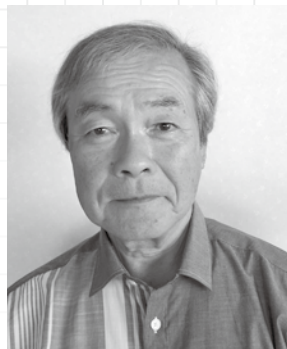
私は平成5年4月旭川北高に赴任、平成8年3月に転勤。あれ！ そうです。46期の皆さんと一緒に入り、皆さんと共に去りました。皆さんは家によく遊びに来てくれ、一緒にお好み焼や餃子を作って食べたり、思い出深い楽しい3年間でした。ありがとう。

私は10年前に道立高校を退職後、大学で数学の特任教授、大学退職後は非常勤講師をし、今はフリーです。昨年夏の約2か月、北海道大学総合博物館夏期特別展『感じる数学〜Tangible Math ガリレイからポアンカレまで〜』で解説ツアーを担当しました(旭川サイパルでも1月に同展示に参加)。展示の主催が北大総合博物館と数学みえる化プロジェクトで、私は後者のメンバーです。北大数学科HPのアウトリーチに後者の説明があります。今年の4月1日、NPOとして設立に至り、私は事務局長で、さらに勉強会「寺子屋」という活動の講師もし、高校生と数学を楽しんでいます。HP (www.mathvis.org) に活動紹介等があります。メンバーに旭川北高の先生もいらっしやいますよ。来年夏、旭川市のサイパルで再度展示があり、私も参加予定です。時間があれば、足を運んでみてください。来夏も皆さんに会えると嬉しいです。



在職した20年のあれこれ

3年8組担任 佐々木 和生



平成元年4月から定年退職する21年3月まで20年在職し、その間、担任12年のうち4回(3年、7年、11年、14年の各年度)卒業生を出しました。また、15年から喘息で数年苦しんだり、17年には脊椎靭帯骨化症(難病)と診断されることもありました。在職中、様々なことがありましたが、主な出来事や関わったことなどを挙げてみます。

- ①元年7月アーチェリー部女子高体連全国大会団体優勝。
- ②2年1月全道スキー大会(ジャンプ競技当番校旭北)開催、電算係を担当。当時、東海大四高2年だった葛西選手のすごさを目の当たりにする。
- ③2年8月道教育相談研旭川大会(当番校聖園中)開催、公開授業をする。(元年1月上川高相研発足)
- ④2年10月創立50周年、12年10月創立周年記念式典挙行。
- ⑤2年10月校訓「自立・創造・向上」制定。
- ⑥道算数数学教育研旭川大会2年9月(当番校旭西、公開授業をする)、9年9月(当番校凌雲、高校部会事務局次長・実践研究を発表する)、16年10月(当番校旭北、高校部会事務局長・公開授業をする)開催。
- ⑦普通科3年、8年、16年の各4月1間口ずつ減。英語科13年4月1間口減、18年4月募集停止、進学視型単位制高校(普通科6間口)に転換、国公立大合格者数大幅増など進学実績に大きな変化を生む。
- ⑧4年9月から第2土曜休業スタート(試行的に11月と2月第4土曜休業)、5年度から隔週5日制、14年度から完全5日制、11年度から2期制実施。
- ⑨6年6月研究紀要第8号発行、実践研究を掲載、以後発行されず。
- ⑩8年度から英語科海外語学研修開始。

- ⑪10年度国公立大現役合格者数3桁(108名)、19年度京都大(工学部)合格(現役)、いずれも初。
 - ⑫11年度から学校祭前夜祭で1学年YOSAKOI公演。
 - ⑬12年8月道高P連第50回記念旭川大会(主会場旭川市民会館)、14年8月全国高P連北海道大会(主会場旭川市大雪アリーナ)開催、いずれも全体会係を担当。
 - ⑭久保倉里美さん(12年度卒)北京(陸上)、寺田桜子さん(14年度卒)トリノ(カーリング)オリンピック出場。
 - ⑮見学旅行片道利用だった飛行機13年度から往復利用、2団実施だったのを15年度から1団実施。
 - ⑯宿泊研修9月実施を13年度5月、14年度から4月実施。
 - ⑰14年度から10月OPEN DAY開始。
 - ⑱15年度1学年から朝読書開始。
 - ⑲放送局15年度、16年度テレビドキュメント部門全国優勝。
 - ⑳16年8月野球部44年ぶり甲子園出場。
 - ㉑19年8月全国算数数学研高知大会参加、実践研究を発表する。
 - ㉒20年2月英語科閉科式典挙行。
 - ㉓20年8月(15年度から顧問となる)書道部松浦友香さん(3年)全国総文祭(群馬)出場(特別賞)。
- まだまだ注目すべき出来事があったと思われるが調べきれず。退職して14年目、74歳になりました。毎年ガーデニング、野菜作り、旅行、読書などをしていたり、11月になると、鮭の飯寿司、ニシン漬けを漬けたりしています。また、旭川市医師会看護専門学校(昼間、夜間の前期)の講師(統計と情報処理)も続けていて、11年目になります。



大谷も入谷も2刀流！

入谷 敦 (第46期)

Profile

平成8年3月
平成14年3月
平成14年4月
平成15年4月

平成16年4月
平成17年4月
平成17年10月
平成19年4月
平成22年4月
平成27年10月
令和3年10月
令和5年3月
令和5年6月

旭川北高等学校英語科卒業
金沢医科大学医学部卒業
旭川医科大学 第一外科
北海道がんセンター 国立札幌病院
心臓血管外科 救命救急センター
市立根室病院 外科・心臓血管外科
旭川医科大学 第一外科
新日鐵室蘭総合病院 心臓血管外科
国立循環器病センター 心臓血管外科
金沢医科大学 高齢医学科 助教
金沢医科大学 高齢医学科 講師
金沢医科大学 高齢医学科 准教授
金沢医科大学 退職
いりたに内科かかりつけクリニック開業

は金沢医科大学に入学し、本格的な
独り暮らしが始まりました。自炊経
験はゼロでカップラーメン、レトル
トカレーが得意料理の男でも、どう
にか6年間無事生活できました。
卒業後は、北海道に舞い戻り旭川
医大旧第一外科で研修医として仕事
を開始しました。どんなに忙しくて
も朝夕2回は病室にお伺いしてお話
しすることで、「あー医者しているな

僕は、平成
5年4月に英
語科に入学し
ました。愛別
町から道北バ
スに乗り、途
中から乗車す
る藤女子高の
子たちと、記
憶するふりの
英単語帳を片
手に会話しな
がらの通学が
楽しく、英語
科の教室も女
子が多いので
周囲からは羨
ましがられま
した。本当に
楽しい3年間
でした。
北高卒業後

「あ」と実感しました。その後、札幌、
根室、室蘭と転勤し経験を重ねるう
ちに、心臓移植に携わりたい！最先
端の医療を経験したい！と、強く希
望して大阪の国立循環器病研究セン
ター心臓血管外科に勤務することと
なりました。心臓外科は本場に不規
則な仕事で長男(室蘭生まれ)長女(大
阪生まれ)は、久しぶりに会うと大
きくなったなど実感したほどでした。
そのためか、通常「いつてらっしやい」
の掛け声が「また来てね」と妻と子か
ら言われ、知り合いのたまに来る「お
じさん」気分を味わいました。
超高齢社会のため手術を受けられ
る高齢の方が多く、日常生活の健康
管理に疑問をもち、もっと深く関わ
りたいという気持ちが強くなりました。
9年間で外科医を辞め、大阪か
ら金沢医大の高齢医学科(高齢者の
内科全般を診る診療科)に入局し、
今年の3月まで仕事をしてまいりま
した。そのため、外科と内科を経験
するに至りました。
今後、総患者数が700万人を超
すと見込まれる認知症は、新薬の発
売も期待されますが、生活習慣の見
直しとともに、いかに社会的な役割・
家庭内での生きがいをもって生活を
続けるかが重要であると感じます。
普段は自宅から出たくない、ひきこ
もりの患者さんも、「先生に会うため

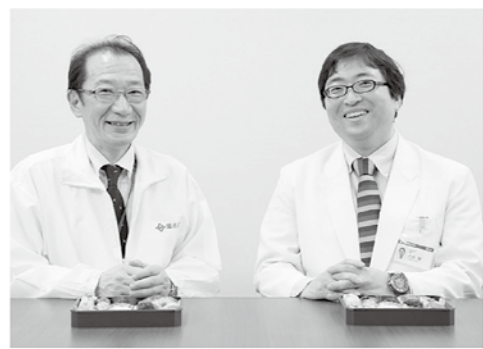
にオシャレしてきたわ」と言っ
て、他県から通院してくれる方もおられ
ます。認知機能が低下しても適度な
運動や社会的な交流をもちながら、
年齢を問わず自己目標があれば楽し
く、充実した生活を過ごすことがで
きることを学ばせていただいております。
そう、そういう意味では、患者さん
が僕が一番のお師匠さまです。

現在は、心臓外科の時のように血
まみれになる体力的な大変さはあり
ません。ですが、患者さん・ご家族
の苦悩を傾聴し、身体疾患の治療を
行いつつ、困っていることを少しず
つ紐解きながらよりよい生活環境・
療養環境を整えていくことに、高齢
者医療の難しさを実感する毎日です。
また、数年前には地元企業とコラボ
をして認知機能低下を予防する弁当
を作ったことも楽しい経験でした。

6月からは今までの外科・内科の
臨床経験を生かした自分のクリニッ
クを金沢市内に開業し、さらに地域
の方々と膝と膝を突き合わせたハー
トフルな診療を行っています。45歳
になっても外科と内科の2刀流でワ
クワクナ毎日です。

食事

「認知症予防」になる?! 弁当登場。



金沢医科大学 高齡医学講座 講師 外科医長 医学博士
入谷 敬さん
[芝寿し] 開発責任者 大島功次さん



認知症患者とその家族、元気な高齢者、金沢医科大学の
若手医師、看護学生らが集まり、何度も試食会が行われた。



金沢医科大学病院×芝寿し 認知症予防企画
「美脳彩」800円、5月発売(価格、発売日は予定)

「脳を元気にすること」を目的とした、全く新しい食のプロジェクトが石川県の医療機関と民間企業の連携で始まっている。「食事や運動習慣など、認知機能低下を抑制できる可能性がある手段を広めたい。そして、身近な食を通じて、認知症への社会の関心を高めたい。そんな思いで、昨年7月から芝寿しさんと弁当の協同開発を進めてきました」と言うのは金沢医科大学の入谷敬先生。

これから世の中、65歳以上の高齢者がとんとん増える中、認知症の人もとんとん増えると言われる。認知症は防げるものなら防ぎたいと思うのが正直なところ。実際、認知症予防になる食材として挙げられるのは、「オリゴ糖」「大豆」「アミノ酸」(卵、魚、肉)といった抗酸化物質を含むもの。また香辛料では「カレー」「ターメリック」「アーモンド」「ブルーベリー」「ローズマリー」「シソ」もよいと言われている。今この弁当は、こうした食材を使い、食べやすさを追求し、さらに減塩まで実現している。発売は芝寿し各店で今春の予定。親身行がてら、この弁当を行楽や地域イベントで、ぜひ食べたい。

脳を元気に保つ良材を使用
美脳彩
芝寿しでは体と脳の健康に役立つながらも、美味しさを感じながら、お弁当の開発に挑戦。

金沢医科大学病院 × 芝寿し

メニューと効果紹介

これを食べてほしい認知症にならないというだけではなく、食はよい物を摂取することで脳細胞を活性化させるものであり、日々の食事、適切な運動に合わせた美脳彩の効果が期待されています。

【脳の活性化】
サラサラは脳を育てるDHAが多く含まれています。DHAは脳力に不可欠な成分です。肉から摂取するには必要量が足りません。また、DHAには認知症発症の予防効果も期待されています。また、DHAは脳の神経細胞の修復にも効果的です。

【味のこだわり】
サラサラは脳を育てるDHAが多く含まれています。DHAは脳力に不可欠な成分です。肉から摂取するには必要量が足りません。また、DHAには認知症発症の予防効果も期待されています。また、DHAは脳の神経細胞の修復にも効果的です。

【味のこだわり】
サラサラは脳を育てるDHAが多く含まれています。DHAは脳力に不可欠な成分です。肉から摂取するには必要量が足りません。また、DHAには認知症発症の予防効果も期待されています。また、DHAは脳の神経細胞の修復にも効果的です。

【味のこだわり】
サラサラは脳を育てるDHAが多く含まれています。DHAは脳力に不可欠な成分です。肉から摂取するには必要量が足りません。また、DHAには認知症発症の予防効果も期待されています。また、DHAは脳の神経細胞の修復にも効果的です。

本体価格：800円
(税込：864円)

ご予約専用ダイヤル
TEL 076-240-4569



私の活動について

中村 詞貴
(第46期)

Profile

- 大手金融系企業および大手ECサイトを運営する企業にてマーケティングを担当
- 2007年5月 株式会社NDPを設立、代表取締役就任、一貫してコンサルティング業務を行う。
- 2009年7月 株式会社NDPマーケティング設立、代表取締役就任。
Web制作会社として、運用型広告のオペレーション事業を開始
- 2020年 動画に特化した「urtoMedia株式会社」を設立
- 2021年 老犬の飼い主のための情報系サイト「老犬ナビ」をリリース
TikTokに特化した「株式会社tik-ma」を設立
- 2022年 NFTの制作、開発「NFTテクノロジー株式会社」を設立
事業拡大のため本社札幌オフィスを拡張移転

 SDGs-Guide


旭川北高校の同窓会から寄稿の依頼をいただいたこと、大変光栄に思っております。それと同時に高校時代を思い出し、胸が熱くなっております。

現在、私は札幌をはじめ東京、大阪、シンガポールにもオフィスを持つ広告代理店、NDPマーケティングの創業者で社長を務めております。今回は、同窓生の皆様に私たちの活動についてご紹介させていただきます。

私たちの会社は、「世界中に愛ある広告を」をミッションに掲げ、インターネット広告を主軸に据え、Webサイト制作、システム開発、YouTubeやTikTok

などの動画制作などを行っている会社です。

最近では、自分たちの得意領域での社会貢献や地域貢献にも力を入れてます。元水産庁出身で一般社団法人生態系総合研究所の所長である小松正之氏とともに、子供の頃から慣れ親しんだ身近な川や小川の自然と環境を取り戻すためのNFTプロジェクト「Shimantoriver」を立ち上げ、「日本最後の清流」と言われている四万十川の研究や調査から学び、水質や生態系の回復に取り組む社会貢献、また、子供たちにも簡単に持続可能な開発目標(SDGs)について知り、学び、考え、そして未来に繋げるWebサイト「SDGsガイド」を運営しながら、子供たちの未来を守るための活動にも力を入れています。

地域貢献としては、私の友人が経営するプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道(旭川)」のパートナーズプレイヤーを務めており、今季初めてVリーグの1部へ昇格することができました。これで、少しは地元旭川に貢献できたと思っています。

最後に、これからも私たちは、社会や子供たちの未来に対して貢献していきたいと思っております。



四戸 秀和 (第57期)

『先輩図鑑』の取り組み



Profile

ランドスケープアーキテクト。OLTA代表。北海道大学観光学高等研究センター学術研究員、松山アーバンデザインセンタープロジェクトディレクター、愛媛大学防災情報研究センター研究員を兼任。1988年旭川市生まれ。2007年北海道旭川北高等学校卒業。2011年札幌市立大学デザイン学部卒業。2014年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。建築設計事務所、北海道大学観光学高等研究センター学術研究員、愛媛大学防災情報研究センター特定助教、松山アーバンデザインセンターディレクターを経て、2021年に旭川市にUターンし現職。旭川では2023年度より「買物公園の在り方検討会議」公募委員、「まちなかぶんか推進協議会」理事を務める。

高校3年の秋に、僕の人生は大きく方向付けられたように思います。建築に関心のあった僕は、なんとなく工学部ではなくデザイン学部に進学することを決めると、進路指導の中村康広先生に美術室に行けと言われてデッサンを練習することになりました。それから卒業までの約5か月間、当時臨時職員として着任されていた美術の中村紀子先生と産休・育休中にも関わらず駆けつけてくださった水本夕佳先生に、デッサンの基礎のみならずデザインというものの考え方や職能などについて教わりました。「デザイン」という分野に心を踊らせたことは今でも覚えています。先生方にはこの場を借りて改めて感謝したいと思います。

高校卒業後は、「デザイン」に没頭するたくさんの人に出会いました。本を読み旅行もしました。それらから多分に影響を受け、現在の僕があります。これは自分の個性というよりも、さまざま人や地域との出会いに導かれてきた結果であるように思います。逆に、高3の夏までは、僕個人の経験上そうしたことがほとんどなかった、非常に閉じた環境にいたことに問題意識を持つようになりました。

2016年、そんな話をたまたま同級生とする機会があり、だったら、ということでも『先輩図鑑』を始めました。『先輩図鑑』は、北高の在校生と同



窓生が交流することで今後の進路に関する視野や可能性を広げてもらうことを目的とした在校生向けの進路相談企画です。年に2回開催し、毎回4、5名の同窓生と20〜30名の在校生が参加してくれています。同窓生から自身の略歴と仕事についてプレゼンしてもらい、その後で同窓生1名を在校生数名で囲み雑談するというプログラムになっています。目先の受験や大学生活に関するだけでなく、よく聞くような分野にもさまざまな業種・業態があることや全く知らなかった業界等に対して理解を広げられるよう意識して企画しています。あとは、魅力的な先輩に出会って触発されてくれればいいなど。参加してくれている同窓生もこのような交流の場を楽しんでくれていますし、企画している僕ら自身も、毎回知らない世界に触れて刺激をもらっています。

『先輩図鑑』を始めて7年。同窓生や進路指導室の先生方のご協力があって、この取り組みが続けられています。この記事をご覧になっているみなさまにも今後誘いの連絡がいくかもしれません、その際はどうぞよろしくお願いします。同窓生の横のつながりもできればいいなと思っています。



苦手な英語に歩み寄ったら 外国人の親友ができ、 2年半で貿易業を始めることに

高塚麻紀子 (第45期) (旧姓 山上)

Profile

| | |
|---------|--|
| 1995年 | 弘前大学 教育学部入学 |
| 1999年 | 新卒で、株式会社ライナーネットワーク (当時の社名は株式会社旭川タイムス)に入社 以来、同社で全部門を経験 |
| 2018年 | 同社取締役役に就任 女性起業家支援団体:じもじよき旭川を 立ち上げ |
| 2020年 | 女性活躍推進団体:ノースコネクション を立ち上げ |
| 2023年4月 | ライナーネットワークで取締役を退任し、同社にて時短勤務の参与として再雇用 |

中一で英語から離脱してしまい、「サンキュー」さえ恥ずかしくて口に出せないほどのコンプレックスを抱えていました。英語は一生使わず、なんとか逃げ切ろうと考えていた私でした。

ところが2年半前、我が子のためにオンライン英会話講師を探そううちに、自分も無料レッスンだけ受けてみようという気の迷いを起こしました。とはいえ、学ぶつもりは全くなく、子どものために良い先生を効率よく探そうと思っただけのことです。そこで、セルビア共和国に住む英会話講師の女性・マスキーと運命の出会いをしました。

彼女は初日、会話がまるで成立しない私に筆談で「あなたは高校へは進学したの？ あなたは英語が全く聞こえていない・話せない・書けない・少しだけ読める」「今日はとても辛いね、でも60日頑張ったら世界が変わるよ。逃げないで頑張ってみて」と言いました。率直な彼女になら私のコンプレックスをさらけ出せると思い、英会話をスタートしてしまいました。彼女とはとても意気投合し、勉強1割、おしゃべり9割という具合です。毎朝30分、翻訳アプリを駆使しておしゃべりしました。当時は会社役員だったのでフルタイム以上に忙しく、2人の子どもも育てる中、毎朝のおしゃべりは何よりの息抜きでした。

1年経ったころ、マスキーがお菓子を贈ってくれた箱の中に、パプリカペースト「アイバル」が1瓶入っていました。セルビアの伝統食で、少し前まではどの家庭でも作っていたそう。焼きパプリカと油と塩しか使わないシンプルな食品ながらとても味わい深く、異国の未知の味に家族全員で魅了されました。

忘れがたい味だったので、次は自分で取り寄せてみることにしました。さらにこのおいしさを友人・知人と共有したくて共同個人輸入を募ってみたところ、多くの人が私の発信に興味を持ち未知の食べ物を購入してくれました。日本人の口にあうようで、リピーターが続出しています。4回の個人輸



入会を開催し、合計152瓶・91kgものアイバルが海を渡ってきました。さらに多くの日本人に喜ばれる可能性があるので、税関との兼ね合いで、個人消費分として大量輸入を続けるには限界がきており、共同個人輸入をやめるのもつたたくなく、悩ましく思っていました。

そんな折、職場の社長から役員を退任してほしいと打診を受けました。一旦は失意の底に落ちましたが、せっかくなら時間と心に余裕を作ってアイバルの輸入を副業で始めるのも面白いかと頭を切り替えました。そして、今年度から時短勤務をスタートしました。今秋の新パブリカで作られるアイバルから業として輸入できるよう、準備を進めている最中です。健康を意識する美食家への贈り物や、お弁当の赤みとして提案したいと考えています。

私自身、自分に外国人の友人ができ、貿易で起業することになるなんて、全く想像していませんでした。ほんの一步を踏み出した結果、人生のルートは随分変わることになりました。

えっ？ 英語は上達したかって？ それがなかなか進歩せず、翻訳アプリは手放せません。でも、外国や外国人とつながる勇気を持てたうえ、文字どおり世界が広がったので、私にとっては必要十分でしょう。40代後半。これからもチャレンジを続け、おもしろそうな波には乗り、予測不可能な人生を味わい尽くしたいものです。



ピンチをチャンスに日々前進

藤田 亜樹
(第46期)

Profile

- 1996年 高校卒業後、日本歯科大学へ入学
2002年 大学卒業後、研修医を経て都内の複数の歯科
 医院に勤務
2014年 東京都港区麻布十番にて麻布十番クレールデ
 ンタルクリニック開院
 ホワイトニング、審美歯科治療が主
2023年 同じく麻布十番にクリニック移転
 審美歯科治療と美容医療に特化している

大学進学のため東京で生活を始めて今年で27年になります。

歯科大学卒業後、歯科医として経験を積み、家族を持ち、大都会で開業もして歯科医、経営者、母業をこなす毎日。これまでの27年、大変なことはもちろんありますが、非常に充実していると思います。診療、経営、子育ては予想つかないことだらけですが、自分を強く前進させてくれる原動力です。

中でも新型コロナウイルスはいろいろと考えさせられる大きなきっかけともなりました。

それまで順調だったクリニックも、コロナが始まり患者さんが来ない！クリニックの近所で毎日お見かけしていた志村けんさんが亡くなったのも非常にショックでした。

このままコロナが続くとクリニックが終わってしまう。どうしよう、そんな状況がしばらく続きもがいていた時に、新しいことを学ぶきっかけができました。それが、マスク下で需要が急増した美容医療治療です。技術を学び、行うようになりました。

これまでは審美歯科治療が主でしたが、私は美容治療が向いていたのか、ありがたいことに評判となり、今では私のクリニックでは歯の治療より、美容治療の方がメインになっていて、遠方から来院してくださる患者様も多数です。コロナが無ければ学ぶきっかけは、なかったかもしれませぬ。



（歯科医は鼻から下、首から上の美容整形治療の一部は認められています。）

また、コロナは子供の学校選びにも影響しました。昨年冬に長男の中学受験を経験。これまでの学校評判だけではなく、オンライン授業の充実さ、卒業後も何かあったときに役立つ人脈を作りやすい伝統と結束があるかをより考える学校選びになりました。仕事も子育てもいつもピンチな時、うっすら見えてくる小さな灯りを頼りに、チャンスに変えてきた気がします。

最近ではクリニックを9年間続けた場所から近所へ移転をして、準備をしている最中です。今後成長や変化を必要とされる状況が必ず訪れるでしょう。それがまた楽しみでもあります。

二人の息子もだいぶ手がかからなくなってきたので、仕事もプライベートも自分の時間が使えるようになってきました。趣味である筋トレと語学学習は大事な時間になっています。昔から運動は大嫌いでしたが、40歳になる直前に始めた筋トレにはまり、今では日常のルーティンの一つ。また、語学は外国人患者さんが多数のため英語は使えて当然。他の言語にも興味が出て、今は中国語、フランス語、スペイン語も勉強中です。

来年1月に46歳の誕生日を迎えますが、健康に気をつけて日々前進していきます！

招待期

卒業から51年、素晴らしきわが同期

菊地 一孝（第22期）



長期間にわたる新型コロナウイルス感染症による社会の混乱もほぼ終息し、今年3年ぶりとなる第57回旭川北高同窓会を開催できることは、同窓会会長・役員の方のみならず、先輩、後輩を問わず、旭川北高同窓生一同の大きな喜びであります。このような状況で準備・開催を担われる当番期の皆様、多忙の中本当にご苦労さまです。

思い起こせば、私達22期の当番期は25年前の第33回同窓会総会でした。当時、企画会議では、22期らしい特色のある同窓会総会を開催しようと企図しました。

私達の高校時代は、グループサウンズが全盛時代だったことから、タイガースの「花の首飾り」で有名な加橋かつみを中心とした3人組ユニットによる「総会前夜祭コンサート」を行いました。GSコンサート終了後に皆で小さな缶ビールで乾杯した感激を、今でも鮮明に覚えています。

また、同窓会総会・懇親会当日はオープニングセレモニーで、合唱部OBにも協力を得て約100人規模で混成四部合唱による校歌斉唱を行ったことも良い思い出です。

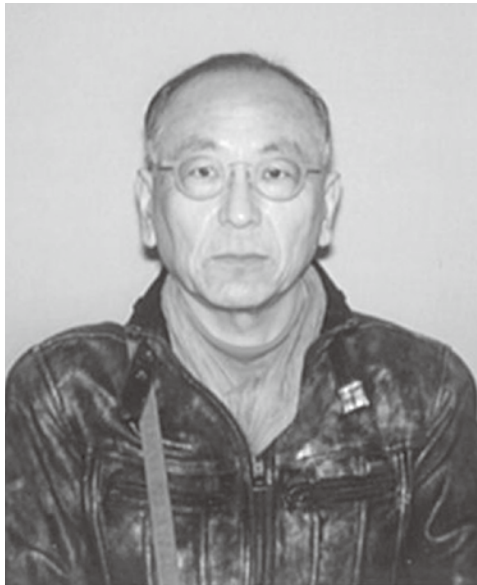
以後、私達は5年ごとに同期会を開催し、懐かしい北高時代を語り合ってきました。今年は70歳になりますので、同窓会に併せて同期会を実施します。今回は東京方面はもとより、遠く熊本からの参加も見込まれ、楽しく懐かしい同期会になりそうです。

最後になりましたが、本日はご招待をいただき、誠にありがとうございました。

招待期

3年2組と島田会

大川 達也（第23期）



この度は同窓会にご招待いただき、誠にありがとうございます。招待期のあいさつ」ということで「島田会」について書こうと思います。

7年前に亡くなられた島田先生と3年2組の仲間達のことです。

先生に初めてお会いしたのは2年生の時で、その時担任の先生が体調を崩し、3日間程、その代替でいらしたときでした。

体格が良く、黒のダブルのスーツにメガネの奥の鋭い眼光に、怖そうな先生だなど。そして、3年でのクラス替えのとき、担任に島田先生がいらしてビックリ。ただ、見た目と違い、時には厳しく、時には優しい温情のある生徒想いの先生でした。そんな先生のもとには、クラスの皆が卒業した後も、お邪魔することが多くなり、気がつくとも毎年正月の1月2日に、多いときには20人が集まる「島田会」という会になり、卒業から43年間、一度も休まず43回続きました。その43回目の会のとき、帰り際に先生が「もうオレは今年で卒業する。来年は来ない」とおっしゃり、会から卒業していきました。

そんな島田会もコロナが収まり、5年ぶりに来年1月2日には行う予定です。今から楽しみにしている自分は、いつまでも卒業できそうもありません。

最後になりますが、人生の恩師に、そして、かけがえのない友に、そして、クラスメイトだった妻に出会えた最高の北高3年間でした。感謝しかありません。 ”ありがとう“

招待期

卒業50年。これからも共に

小泉 英一（第24期）



第57回旭川北高同窓会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、これまで同窓会開催に向けて準備を進めてこられた実行委員会の皆様には厚くお礼申し上げます。ならびに、日頃より同窓会の運営にご尽力されている関係者の皆様にも感謝を申し上げます。コロナ禍で総会・懇親会を開催できなかった期の皆さん大変残念でしたが、皆さんが協力して作成した北高同窓会会誌は全部拝見させていただきました。ありがとうございました。

私も北高24期は昭和49年3月に卒業し、今年度卒業50年を迎えます。あつという間の50年ですね。私どもが同窓会総会・懇親会の当番期だったのは西暦2000年の第35回でした。その年の招待期は北高1期生の先輩方でした。事務局を担当していました私が、当時北高1期生の代表の伊藤先輩のご自宅へ伺い、同期の皆様のご出席をお願いしたのが、ついこの間のように思い出されます。もう23年もたったのですね。

同窓会当日、120人も同期が全国から集まり、また多数の方々に出席していただき、盛況のうちに終わることができました。終了後の同期の懇親会は遅くまで続きました。定期的ではないのですが、いろいろな節目に同期会を開催しています。これからも元気なうちは皆で集まろうと思っています。よろしく。

同期の今

趣味を楽しむ

横山 亜由美 (旧姓 本間)

30代半ばで初めて一人旅をしました。それまで旅に付き合ってもらっていた友人たちが、どんどん子育ての世界に突入したためです。初めての一人旅は九州でした。それはとても楽しくて、なぜ今まで旅の選択肢に「一人旅」がなかったのか不思議に感じるほどでした。そこから一人旅にハマってしまい、韓国、台湾、タイ、ラオス、フィリピン、インドネシア、カンボジア、インドなど、海外にも足を運びました。主婦でも可能な一人旅や、こんな旅をしている主婦がいることを伝えたくて、2018年にアマゾンキンドルの電子書籍で旅行記「旅妻ヤミツキひとり旅」を出版しました。



しばらくの間旅行が制限されていたこともあり、現在は子供たちの憧れの職業にランキング中の「ユーチューバー」として毎日を楽しんでいます。

旅行チャンネルは続きませんでした。セカンドチャンネルとして立ち上げたコスメチャンネルが企業案件をいただけるようになりました。ちなみにチャンネル名は「タビズマ コスメ大好き!」です。同窓生のよしみで、ぜひチャンネル登録お願いします笑



私の今

朝倉 優美香 (旧姓 伊達)

北高卒業後は札幌で暮らし、ススキノで働き、結婚、出産、離婚して、旭川に戻ってくるという劣等生コースを歩きました。その後はエステサロン勤務後、自分で7年間サロン経営も行いましたが、現在はサロンをクローズし、パートのエステティシャンとしてゆるく暮らしております。毎日の三分の一をエステティシャン、三分の一をライフワークの環境活動、三分の一を朝倉優美香としてのフリータイムとして楽しんでいきます。

もともと興味のあった環境保護、動物愛護、自然食品の分野での仲間が徐々に増え、イベント開催、普及・啓発活動、ゴミ拾い、環境系映画の上映会などを行っています。

朝起きて、食事して、出かける用意をしたら夕方になっているくらいスローな暮らしを大切にしています。



生態系や生物多様性という世界観が大好きで、地球に生きるすべての命は一つに循環していくという概念を伝える活動を目指しています。私たちは空気も水も土もなくしては生きていけないし、それらを作っているのが地球、植物、動物、微生物などなどということの奇跡を伝えたい!

ネコと暮らす生き物好きの私、人生最後の日に食べたいものは、自分で作ったお味噌汁です!

同窓会誌に寄せて

「徒然なるままに・・・」

吉田 武史

高校卒業後、北海道教育大学旭川校へ進み、大学院生活を経て高校の保健体育教諭に。初任地は道東の霧多布高校で6年間勤務し、その後、室蘭清水丘高校で11年、現在は室蘭栄高校で勤務し、教職生活も20年が過ぎました。「体育の先生は楽そうだなー」と思っていた高校時代の自分に喝を入れた今日この頃である。体育の先生方すみません・・・。

高校時代と変わらず、「起立、礼、着席」の挨拶で始まる日々を過ごす中で、勉強やスポーツ、課外活動に打ち込み、体育祭や学校祭、宿泊研修や見学旅行と行事を楽しむ高校生を見ながら、いつになってもどこであっても高校生はエネルギーにあふれ、輝いているかと再確認しています。と同時に、他愛もないことで盛り上がり、席替えを楽しみにし、3時間目終わりで弁当を食べ、昼休みは購入のメロンパンを買ってから体育館でバレーボールをし、ウトウトしながら授業を聞いて、部活にすべてを注いでいたあの頃を思い出します。ああ、あの頃は土



曜日も授業があったんだ。仕事柄、部活の結果や、模擬試験の学校間比較、進路実績などを目にする機会も多く、母校の活躍や後輩の頑張りを目にする、やはり嬉しいものである。「キタコウ」の歴史と伝統を感じつつ、稚拙な文章を締めたいと思います。では。

ご縁に感謝

藪 尉

4年ぶりの旭川北高同窓会の開催、心よりお祝い申し上げます。さて、高校を卒業して早いもので27年が経ちました。高校時代を振り返ると、私は大変に不真面目で多くの先生方にご迷惑ばかりかかっていたことが思い出されます。高校時代の楽しい思い出は、部活動と今も続く友人関係です。北高に入学後、すぐに硬式テニス部に入部しました。優しい先輩や、朝から夜遅くまで練習に付き合ってくれる同期や後輩と、楽しく活発に活動しました。友人とは、放課後の学校や常磐公園でお互いの夢や、今後のことを熱く語り合ったものです。

高校卒業後は、何とか大学生になることができ、東京で4年間過ごしました。大学4年の時には、教育実習でも北高に大変お世話になりました。担当の指導教諭をはじめ、多くの先生、生徒に恵まれ、教員としての一歩を踏み出すことができました。今でも本当に幸せに思っております。



現在、私は旭川龍谷高校で教員をしています。毎日、いろいろな子どもたちとの出会いに感謝しながら楽しく生活しております。最後に寄稿執筆の機会に感謝申し上げますと共に、旭川北高に関係するすべての方々によくの幸が訪れることをお祈りしております。ありがとうございます。

北海道の地域づくりと

旭川北高の仲間達

大西 有希子（旧姓 垣脇）

私は高校卒業後、北海道庁に入庁し、結婚、育児を経て、現在は札幌の本庁舎で勤務しています。就職した頃は、北海道と市町村の役割の違いすら分からなかったのですが、広域自治体として国や市町村との調整役を果たしながら、地域の皆さんの活躍を後押しする仕事にやりがいを感じ、日々職務に向き合っているところです。特に、長らく勤務した上川総合振興局では、地域の取組支援というミッションの中で、地域の皆さんから逆に元気をもらう場面も多く、札幌勤務となった今も、上川管内の情報収集は私のライフワークとなっています。

道庁では、旭川北高の同窓生も多数活躍しており、継続的に懇親の場を設けております。部署も年齢も全然違う、旭川北高だけで繋がるメンバーが集まるのですが、



毎回大いに盛り上がります。道庁の中でも、地域や大学ではなく、高校の同窓会という枠組みで集まっているところは稀で、個人的にも心強く、いつも助けられています。

これから就職をお考えの同窓の皆様、道庁と一緒に北海道の地域づくりに取り組みませんか？道庁旭川北高同窓会一同、お待ちしております！

旭川北高を卒業してからの自分

荒谷 公彦

建築の仕事に就きたい。漠然とそんなことを考えていた高校時代。旭川北高を卒業してずいぶん時間が経ちましたが、今も建築の仕事が続けております。

大学卒業後、コンサルタント事務所や設計事務所を経て、北海道警察で建築の技術職員として働き、交番・駐在所の新築や警察署の改修などを担当してまいりました。

その後、縁があつて旭川市役所に採用され、警察時代と同じ建築の技術職員として現在も勤めております。学校の工事や市営住宅の計画策定など仕事の内容は多岐に渡りますので、旭川北高時代も含めて今まで経験してきた一つ一つのことは無駄じゃなかったと実感する毎日です。

自分の生まれた街で働けることに感謝しながら、ふるさとのためにがんばっていかうと思っております。



自ら設計した自邸と。

懐かしいあの頃を振り返って

大塚 美佳（旧姓 宮城）

北高を卒業後、青森県弘前市の医療技術短大に一浪の末、何とか滑り込み進学し、卒業後は必ず北海道で就職すると意気込んでいましたが、縁あって青森県八戸市で就職、結婚し、気が付けば26年もの月日が流れていました。

今私は八戸市の認知症専門病院で作業療法士として働いています。人生の半分以上をここ青森県で過ごすこととなった私は、青森弁と北海道弁の混じった不思議ななまりで毎日元気に認知症の患者さんのリハビリをしています。

家族は夫、大学生と高校生の娘2人と愛犬1匹です。ここ数年のコロナ禍で、ほとんど帰省が叶わず悶々とした日々を送ってきましたが、この夏4年ぶりに旭川北高の同窓会が開催されると連絡が。「絶対に参加する！」とすぐに返信し、卒業アルバムを引っ張り出し、薄れかけていた記憶をたどりながら、故郷の旭川や高校時代のあの

頃を懐かしみながら振り返っています。



良き時代

米山 香世

私は現在旭川市内の病院で看護師をしています。

高校時代は帰宅部で毎日買い物公園通りをぶらぶらしていました。ロッテリアのチキンコンボ、ドムドムのお好み焼きバーガー、駅前ビルのバナナ焼き…好きでした。エスタ、マルサ、西武、丸井、マルカツ、オクノ…常にパトロールしていました。何かといえばカラオケに行き、何もなければ喫茶店でボケーっとしていました。人生の中で一番動きのない時代でしたが、ひとつの青春のかたちとして悪くなかったなと思います。

その後は看護大学に進学し、卒業後に現在の病院に就職して23年、自分のもてる力でここまで進んできました。どの職業も生涯学習は必要だと思いますが、変わりゆく社会と日々進歩する医療の影響を受ける看護師も同じです。私も長期研修や専門資格取得などで研鑽し、今も働きながら学校に通ったりしています。

アラフィフとなったこの頭と体はなかなか頑張りがききません。一年くらいあの頃のような生活をしたのが、正直なところですが、今ある力と環境で頑張るしかないのでマイペースにやっております。



私の居場所

芳賀 雅美 (旧姓 佐藤)

同窓会誌に寄稿してほしいと声をかけていただき、高校時代を振り返ってみましたが、お世辞にも良い生徒だったとは言いがたく、まずは反省：

やりたいことなんか見つからないし、勉強も大嫌い。頑張るなんて無理だった私が、普通に？卒業できたことは、今でも謎です。

それでも、小学生の頃から「長く仕事を続けたい」という気持ちだけはあったので、高校卒業後に国家公務員試験を受け、労働基準監督署に入職して26年が経ちました。

何をやっても続かなかった私が26年も…と、自分でも驚いており、人には向き不向きがあるんだなと感じているところです。

今は縁あって、埼玉に住んでおり、あの頃は想像もしなかった人生を歩みつつ、仕事と育児に奮闘する、とても平凡な毎日を過ごしています。



今は、こんな感じですよ

藤原 朝美 (旧姓 佐藤)

みなさん、お元気ですか?? 3年2組、藤原(佐藤)朝美です。北高時代は吹奏楽部に所属していました。

私は短大卒業後、比布町役場に就職しました。そして、様々な部署を経験し、今春から比布駅の担当になりました。

比布駅は小さな駅ですがカフェも併設しており、オバ鉄の私にとっては特急通過のスピード感や一面編成の気動車のローカル感に癒され、鉄分を補給するパワースポットとなっています。

そんな私のメインの仕事は「ふるさと納税」です。みなさん、高校生の時、ぴっぷスキー場でスキーを楽しみましたよね！ ふるさは旭川市という方も多くいらっしゃると思いますが、比布町を第二のふるさとだと思っただけでございまして、ゆめぴりかやメロン、とうもろこしなど、おいしいものがたくさんありますので一度、サイトをのぞいてみてください。

そして、ここ比布町役場には、滝沢康司さんと合田(福田)由香さん、二人の同級生もおります。

同級生がいることに心強く感じており、仕事の上でも、個人的にも助けられています。年齢を重ね、いろいろと困難なこともあります。これからは頑張っていきたいと思えます。みなさん、遊びに来てね！



進路指導部(全日制) 都筑 宏海

【国立大学合格者数】(現役+過年度)

| 大学名 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北海道大 | 6 | 12 | 9 | 13 | 14 |
| 北海道教育大 | 27 | 28 | 35 | 22 | 30 |
| 室蘭工業大 | 8 | 4 | 4 | 6 | 8 |
| 北見工業大 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 小樽商科大 | 10 | 8 | 8 | 12 | 14 |
| 帯広畜産大 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 旭川医科大 | 9 | 7 | 10 | 8 | 11 |
| 弘前大 | 5 | 11 | 9 | 4 | 9 |
| 岩手大 | 4 | 4 | 4 | 6 | 2 |
| 東北大 | 1 | | | | 1 |
| 東秋形大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 山形大 | 2 | | | | |
| 茨城大 | | 2 | | 4 | 5 |
| 筑波大 | | | 1 | 1 | 1 |
| 宇都宮大 | | | | | |
| 埼玉大 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 千葉大 | | 2 | | 1 | 2 |
| 群馬大 | | 1 | | | |
| 東京藝術大 | 1 | | | | |
| 東京外語大 | | | | | |
| 東京農工大 | | 1 | 1 | | |
| 横浜国立大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 新潟大 | 3 | 4 | 7 | 9 | 7 |
| 富山大 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 岐阜大 | | | | | |
| 金沢大 | 4 | 4 | 3 | 1 | 3 |
| 信州大 | 1 | 1 | | 2 | 1 |
| 静岡大 | 7 | 4 | 2 | 1 | 6 |
| 名古屋大 | | | | | 1 |
| 京都大 | 1 | | | | |
| 大阪大 | | 1 | | 2 | 1 |
| 神戸大 | | | 1 | 1 | 3 |
| 広島大 | | | | 2 | 1 |
| 長崎大 | 1 | | 1 | | |
| 琉球大 | | | | 1 | |
| 札幌医科大学 | 3 | 2 | 7 | 4 | 3 |
| 札幌医科大学 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 |
| 公立はこだて未来大 | 2 | 2 | 2 | | 2 |
| 釧路公立大 | 2 | 4 | 11 | 6 | 4 |
| 名古屋大 | | 8 | 6 | 6 | 6 |
| 千歳科学技術大(R1~) | 15 | 3 | 4 | 5 | 4 |
| 高崎経済大 | 2 | 4 | | 2 | 6 |
| 神奈川県立保健医療大 | | | 1 | 2 | |
| 東京都立大 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 横浜市立大 | 1 | | | 2 | 2 |
| 都留文科大学 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 |
| 新潟県立大 | | | | | |
| 愛知県立大 | | | 1 | | |
| その他 | 5 | 3 | 12 | 13 | 27 |
| 国立大計 | 134 | 135 | 153 | 149 | 190 |

※旭医大医学科 H23 (1)、H24 (3)、H26 (2)、H27 (1)、H28 (2)、H29 (1)、H30 (1)、R3 (1)、R4 (1)
札幌医大医学科 H27 (1)、H28 (1)、R1 (1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

| 大学名 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 藤女子大 | 10 | 11 | 6 | 6 | 7 |
| 北星学園大 | 14 | 28 | 27 | 14 | 11 |
| 北海学園大 | 30 | 36 | 37 | 29 | 46 |
| 天 使 大 | 6 | 3 | 5 | 2 | 2 |
| 北海道科学大 | 32 | 36 | 11 | 21 | 26 |
| 酪農学園大 | 3 | 10 | 10 | 10 | 4 |
| 北海道医療大 | 20 | 19 | 15 | 21 | 32 |
| 日赤北海道看護大 | 2 | 6 | 3 | 4 | 4 |
| 北海道文教大 | 3 | 8 | 4 | 1 | 8 |
| 獨 協 大 | 1 | 6 | 3 | 5 | |
| 青山学院大 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 |
| 学習院大 | 1 | 2 | 1 | 1 | |
| 慶應義塾大 | 2 | 1 | | | 1 |
| 東京女子大 | | | | | |
| 駒 澤 大 | 1 | 2 | | 1 | 5 |
| 上智大 | | 1 | | 2 | 1 |
| 専修大 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 創 価 大 | | 1 | | | 1 |
| 中 央 大 | 7 | 5 | 3 | 5 | 7 |
| 津 田 塾 大 | 1 | 1 | | | 2 |
| 東 海 大 | 6 | 2 | 4 | 4 | 5 |
| 東京農業大 | 3 | | | 2 | 3 |
| 東京理科大 | 2 | | | 1 | 1 |
| 東 洋 大 | 2 | 4 | 4 | 2 | 8 |
| 日 本 大 | 1 | 7 | 4 | 3 | 8 |
| 法 政 大 | 8 | 11 | 4 | 5 | 14 |
| 明 治 大 | 1 | 4 | 3 | 4 | 7 |
| 明治学院大 | | 1 | | 4 | 1 |
| 立 教 大 | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 早 稲 田 大 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 神 奈 川 大 | 2 | 1 | | 2 | 2 |
| 京 都 外 大 | | | 3 | | |
| 同 志 社 大 | 2 | 2 | 1 | 1 | 8 |
| 立 命 館 大 | 2 | 4 | 2 | | 6 |
| 関 西 大 | 1 | 1 | | | 1 |
| 近 畿 大 | 1 | 4 | | 3 | 1 |
| 関西学院大 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| そ の 他 | 54 | 104 | 99 | 87 | 80 |
| 私 立 大 計 | 229 | 332 | 253 | 248 | 311 |

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

| 種類 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|---------|-----|----|----|----|----|
| 国家公務員 | 2 | 3 | 2 | 2 | |
| 道 庁 職 員 | | 2 | 2 | 2 | |
| 市町村職員 | | 3 | 2 | 1 | |
| 他の公務員 | 2 | 2 | 4 | 1 | |
| 民間就職 | | | | 2 | |

本校は単位制導入以来、進学先をどんどん広げ、近年では道内はもちろん、約半数が北海道を離れ、関東圏にとどまらず、九州、沖縄まで進学しています。それは高校在学中に自分がどの分野に興味関心があるのかをしっかりと考え、自分が学びたいことを学べる場所を求めた結果と言えます。

単位制の進路指導では、一年次より、将来的に見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、オープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。加えて、若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も昨年度で13回を数え、参加した先輩達に大変好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持つよう進めています。

近年は「入れる大学」から「入りたい大学」選びをする者が増えてきました。昨年度は大阪大、名古屋大、九州大、神戸大、東北大、北大、旭川医科大(医学科)などの難関国立大学や、慶応大、東京理科大、立教大、同志社大などの難関私立大学に現役で合格しました。また、浪人生も健闘し、九州大(薬学部)等へ進学しました。

今春入試は「大学入学共通テスト」3年目の入試でした。より思考力、判断力、読解力が問われる出題となりました。北高の生徒は苦手教科、科目にも最後まで粘り強く取り組み、かつてできなかったため、今春入試の結果につながったと考えています。真面目に最後まで粘り強く取り組めることは、北高生の強さだと改めて感じました。今春の卒業生もコロナ禍の影響を受けましたが、見学旅行や学校祭は制限付きで実施することができました。強力な学年主任の先生のリーダーシップのもと、高体連を終わらせてから受験勉強へと素早く切り

替え、自習教室である数学教室はいつも生徒たちでいっぱいでした。国立大学に176名の現役合格、そして前述した難関大学への合格となったのも、このような努力や頑張りがあったことからです。特筆すべきは、この多くが部活動に加入していた生徒で、脈々と引き継がれる北高の伝統・文化・文武両道を継承してくれました。

現2年生から新課程が始まり、総合的な探究の時間など、教育活動は時代や社会の変化に合わせて、大きく変わってきています。教育活動に携わる中で、私たちができないことが多いと実感します。先述した先輩図鑑に加え、今の子どもたちには教員以外の「大人」「社会」との関わりが不可欠です。探究活動では積極的に外部の方に講師をお願いしており、今年は北海道科学大学の井野先生に講義をいただきます。同窓生の方で協力していただける方がいましたら、ぜひよろしくお願いたします。

令和4年度 進路別人数 卒業生の進路

| 区 分 | | | 合 計 | | | 前年 | |
|------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 男 | 女 | 計 | | |
| 卒業 | 者数 | | 104 | 133 | 237 | 233 | |
| 進学 | 希望者数 | | 104 | 133 | 237 | 226 | |
| 進学 | 者数 | | 95 | 128 | 223 | 204 | |
| 進学先 | 大学 | 国立 | 道内 | 35 | 55 | 90 | 76 |
| | | | 道外 | 40 | 25 | 65 | 50 |
| | | | 計 | 75 | 80 | 155 | 126 |
| | | 私立 | 道内 | 6 | 18 | 24 | 33 |
| | | | 道外 | 12 | 23 | 35 | 32 |
| | | | 計 | 18 | 41 | 59 | 65 |
| | 短大 | 国立 | 道内 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 道外 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 私立 | 道内 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| | | | 道外 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 大 学 校 等 | 専 門 学 校 | 看護 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | | その他 | 0 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 計 | 1 | 3 | 4 | 4 | |
| | 公務員 | 道内 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 道外 | 0 | 2 | 2 | 5 | |
| | | 計 | 0 | 2 | 2 | 5 | |
| 就職 | 公務員 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| | 民間 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| その他 | 営 業 | 0 | 1 | 1 | 0 | | |
| | 家 事 手 伝 | 0 | 1 | 1 | 0 | | |
| その他(未定を含む) | | | 9 | 4 | 13 | 22 | |

国立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

| 卒業年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|---------|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| 学 級 数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 6 | 6 | 6 |
| 合 格 者 数 | 97 | 107 | 113 | 119 | 126 | 143 | 137 | 176 |
| 人 / クラス | 16.2 | 17.8 | 18.8 | 19.8 | 18 | 23.8 | 22.8 | 29.3 |

難関国立大、医学科合格者数 (現役)

| 大学名 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 北 大 (文 系) | 1 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 5 | 5 |
| 北 大 (医 理 系) | 1 | 5 | 6 | 3 | 8 | 7 | 5 | 8 |
| 札幌医大(医) | | 1 | | | 1 | | | |
| 旭 医 大 (医) | 1 | 2 | | 1 | | | 1 | 1 |
| 東 北 大 大 (医) | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| 筑 波 大 大 (医) | | | 1 | | | | 1 | 1 |
| 東 京 工 業 大 大 (医) | | | | | | | | |
| 名 古 屋 大 大 (医) | | | 1 | | | | | |
| 京 都 大 大 (医) | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| 大 阪 大 大 (医) | | 1 | | | | 1 | | 3 |
| 神 戸 大 大 (医) | 2 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| 九 州 大 大 (医) | | | | | | | | 1 |
| 計 | 7 | 11 | 10 | 8 | 13 | 9 | 15 | 22 |

部活動報告

2022-2023

令和4年度より5年6月までの成績(大会の結果等)を中心とした部活動の紹介と近況報告

●野球部

今年度は3年生10名、2年生10名、1年生12名、マネージャー3名の合計35名で活動しています。

昨年の秋季大会では、初戦で旭川大学高校と対戦し0対8のスコアで敗れました。攻撃、守備、全てにおいて相手に圧倒され、自分たちの力不足を痛感する大会となりました。

秋季大会の敗戦をうけてチーム力の底上げを図った冬季練習では、ウエイトトレーニングやサーキットトレーニングなどで技術練習の土台となる体作りと、弱点であった守備力の向上を目指し、キャッチボールやボール回しといった基礎の部分の練習を積み重ねました。また、1点も取れずに敗戦してしまったことから、どのような投手が相手でも毎試合5点以上得点することを目標にバットを振り続けました。しかし、自分たちの技術不足だけではなく、全員が秋季大会の悔しさを忘れず大会で勝つという強い意識を持って練習でませんでした。そのため練習中の指摘不足に陥ってしまうこともありましたが、一人一人の自覚を促し克服できるように取り組んできました。

雪が解け、練習試合などの実践を経験して春季大会を迎えました。初戦は旭川龍谷高校と対戦し、2対5で敗戦してしまいました。夏の選手権大会支部予選のシード権

を賭けた非常に重要な大会でしたが、とても悔しさが残る試合となりました。練習試合から感じていた決定打の無さなどが勝敗に大きく関わり、望んだプレーができなかった上に自分たちが犯したミスが大きな要因となりました。日々の練習、練習試合の1球にどれだけ集中して取り組めるかがどれほど大切であるか痛感しました。

3年生にとって最後となる夏の選手権大会まで残された時間は短いですが、大会で対戦することになる旭川の私立高校に勝つことを常に意識し、一つ一つのプレーの重みを感じながら練習していきます。多くの新入部員が入部してくれたこと、OB会・

OB父母の会・父母会をはじめ、日頃より自分たち野球部の活動を支えてくださる方々に感謝し、3年生が先頭に立ってチームを引っ張り北高野球部の伝統を引き継げるよう日々精進していきたいと思えます。



●ソフトテニス部

令和4年度は、3年生3名、2年生7名、1年生4名の計14名で活動をスタートしました。高体連では、個人戦ダブルスで全道大会に進出しただけではなく、念願の団体戦においても全道大会に出場することができました。全道大会での対戦相手には力及ばず、なかなか勝利をあげることができませんでした。チーム全員が一丸となって最後まで真剣にソフトテニスに向き合うことができました。その後、1年2年合わせて11名の部員で力を合わせ、コーチの指導の下技術を磨き、新人戦地区予選において個人戦ダブルスとシングルス、そして団体

選抜地区予選において全道大会出場権を獲得しました。全道大会では、自分たちのやってきたことが間違っていないという自信につながる大会となりました。

令和5年度は、3年生7名、2年生3名、1年生7名の計17人で活動しています。高体連地区大会においては、昨年度に引き続き個人戦ダブルスで全道大会出場権を得ました。試合では、自分たちの思い描いている結果を残すことができていない悔しさがあふれます。しかし、日々のトレーニングの成果を発揮することができているので、試合を経験することに内容がよくなっています。

最後に、日々私たちを見守り、支えてくださる保護者と先生方、何より忙しい中私たちのために時間を割き、ソフトテニスと真剣に向き合い、楽しむことの大切さを教えてくださるコーチに感謝しています。どうもありがとうございました。そして、これからも全力でソフトテニスに取り組んでいきますので、応援をお願いします。

なお、令和4年度から寄稿時までの主な結果は、次のとおりです。

【令和4年度】

- ◇第75回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会旭川支部予選会
(5月11・13日 花咲テニスコート)
女子団体 第3位
女子個人戦
小松優芽・佐藤みなみペア ベスト16
菅野あかり・黒谷萌衣ペア
- ◇第75回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼第72回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選
(6月7・9日 花咲テニスコート)
女子個人戦
菅野あかり・黒谷萌衣ペア 2回戦敗退
女子団体 2回戦敗退
- ◇第77回団体ソフトテニス旭川地区予選大会
(7月18日 花咲テニスコート)
女子ダブルス
- ◇第77回国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会
(8月10日 苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場)
女子ダブルス
菅野あかり・黒谷萌衣ペア
予選トーナメント2回戦敗退
- ◇第52回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
(9月17・18日 花咲テニスコート)
ダブルス
菅野あかり・黒谷萌衣ペア 2回戦敗退
戸屋彩愛・倉内瑛美ペア 1回戦敗退
シングルス 黒谷萌衣 3回戦敗退
- ◇第48回全日本高等学校校団体選抜ソフトテニス大会旭川支部予選会
(9月24・25日 花咲テニスコート)
予選リーグ 第1位
決勝リーグ 第3位
全道大会出場
- ◇第59回北海道高等学校インドアソフトテニス大会旭川地区予選会
(12月23日 旭川市総合体育館)
ダブルス
戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア
代表決定戦勝利(全道大会進出)
- ◇第48回全日本高等学校校団体選抜ソフトテニス大会北海道予選会
(1月23・26日 湿原の風アリーナ釧路・釧路町総合体育館)
予選トーナメント 1回戦敗退

◇第59回北海道高等学校インドアソフトテニス大会
(3月11日 湿原の風アリーナ釧路・釧路町総合体育館)

戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア 2回戦敗退
ダブルス

◇第52回ゴーセン杯争奪ハイスクールジュニアパンカップソフトテニス2023北海道予選大会
(4月3・4日 よつ葉アリーナ十勝)

戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア 1回戦敗退
シングルス 黒谷萌衣 2回戦敗退

◇第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会旭川支部予選会
(5月17・19日 花咲テニスコート)

女子団体 決勝トーナメント
1回戦敗退(予選リーグ第1位)

戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア ベスト16
伊藤菜桜・松田愛果ペア

◇第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼第73回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選
(6月6・8日 野幌総合運動公園テニスコート)

女子個人戦
伊藤菜桜・松田愛果ペア 2回戦敗退

●男子硬式テニス部

今年度の男子硬式テニス部は、1、2、3年生各3名ずつの計9名で活動しています。

令和4年度の戦績は、まず春季支部大会で団体戦が2回戦敗退、安田・吉田ペアのダブルスも順位決定戦で敗れ、個人・団体共に全道進出を逃しました。全道出場をかけて臨んだ秋季大会でしたが、1回戦から第一シードにあたり、残念ながら1回戦で敗退してしまいました。しかしながら、個人戦ではシングルスで加藤、大嶽2名が準優勝と3位入賞を果たしました。今年は残

念ながら秋季大会個人戦の全道大会が開催されませんでした。両名ともに全道大会出場に相当する戦績をあげてくれました。

今年度の戦績は、春季大会団体戦は1回戦敗退、シングルスで加藤第3位、大嶽ベスト8、ダブルスで大嶽・加藤ペアベスト4でした。支部大会のシード決めで団体戦1回戦敗退ということもあり、支部大会の団体戦ドローはくじ引き。顧問である生見がくじを引いたところ、初戦の相手は西高。強豪校ということもあり、部員からなんでもそんなところを引いたのかと大ブーイング。顧問も平謝りでした。しかし、迎えた支部大会本番では何と西校に勝利して見事第3位という戦績を収め、全道大会出場を決めました。個人戦でも、加藤が見事準優勝を果たし、昨年から飛躍を感じさせてくれました。

全道大会では男子団体は北見北斗に1-2で1回戦敗退、個人戦でも加藤が1回戦敗退となっていました。選手皆一様にのびのびとプレーできたように思いますし、他の地区の選手たちの試合を観戦し、大いに刺激を受けた様子でした。

選手権大会道北ブロック予選では、シングルスで加藤ベスト4、ダブルスで加藤・中嶋ペアが優勝で、ダブルスのみではありませんが全道大会行きを決めました。

3年生が引退し、1、2年生合わせて6名という少人数での活動となっていますが、生徒一人一人のモチベーションが高く、今後大いに成長してくれるものと期待しています。

●女子硬式テニス部

今年度の女子硬式テニス部は3年生6名、2年生7名、1年生4名の計17名でスタートしました。顧問の荒川先生が退職されて寺田が引き継ぎましたが、怪我のリハビリ中のため、実際の指導は男子顧問の生見先生や前顧問の荒川先生、さらにテニス経験者の保護者の方々のお力をお借りしながら活動してきました。

昨年度は、春季大会で町谷が団体戦・個人戦ダブルス・シングルの3冠を達成し、続く高体連支部大会では団体戦で優勝して、全道大会では初戦を突破し2回戦に駒を進めました。全道大会ではさらに個人戦シングルスで町谷、手塚が共に初戦を突破し、ダブルスでは町谷・手塚組がベスト16に進出と好成績を収めることができました。町谷はその後、国体北海道予選、北海道ジュニアテニス選手権の両全道大会でシングルスベスト8進出という自己最高の戦績を収め、特に後者ではあと一勝で全国大会出場という活躍ぶりでした。3年生引退後は夏季大会で優勝、秋季大会でも団体戦優勝、個人戦ダブルスで手塚・野田組が優勝、筒井・野村組が3位、個人戦シングルスでは手塚準優勝、筒井が3位という成績を収めました。

今年度の戦績は、春季大会の団体戦では残念ながら連覇を逃し3位となりましたが、個人戦ではダブルスで手塚・野田組が優勝、筒井・野村組が3位、シングルスでは筒井が優勝、手塚が3位という結果を残しました。同じく連覇の重圧のかかった高体連支部大会団体戦では、接戦の末3位となりました。個人戦ではダブルスで手塚・野田組が3位、筒井・野村組が5位、シングルスで手塚が準優勝、筒井が3位と、苦しみながらもなんとか全道大会への切符を手に入れることができました。

苫小牧市で行われた全道大会では、個人戦ダブルスで手塚・野田組が2回戦、筒井・野村組が1回戦、シングルスでは手塚、筒井共に1回戦敗退という結果でした。敗れたものの、選手は緊張とプレッシャーの中で懸命に戦い、特にシングルスの手塚と筒井は強豪選手相手に思い切りぶつかって、持てる力を十分に出し切ることができたと思います。

現在は3年生が引退し、新チームとなつてまだ間もないところですが、6月に行われた北海道ジュニアテニス選手権道北プロ

ック予選および国体道北ブロック予選では、2年生を中心によく健闘して徐々に勝ち進めるようになり、着実に成長を遂げつつあります。今後は8月下旬の秋季大会で1勝でも多く勝ち進めるように、選手がモチベーションを高く保って練習に取り組みむことができる環境作りに努めていきます。応援よろしくお願いたします。



●男子バレーボール部

今年度の旭川北高校バレーボール部男子は選手23名、マネージャー4名でスタートしました。1つの大会が終わる度にミーティングなどを通じて、チームの課題を何が足りなかったのか、何がしたいか全体で共有して練習を行ってきました。コロナウイルスの影響で合宿が思うように実施できず、実施でき、その中で高体連支部大会への思い一つにして練習していきま。高体連支部大会ではライバルの旭川東高校と競り合うも敗れ、その後の試合で取り返し決勝トーナメントに駒を進めましたが、旭川実業高校に敗れ、全道大会への挑戦権を獲得することはできませんでした。

今年度になり、これまでなかなか実現できなかった保護者や身のまわりの方々による応援の中でバレーボールができ、選手たちも喜びと感謝の気持ちをもって試合を行うことができました。これまで支えてくださった皆様本当にありがとうございました。

【令和4年度】

◇旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会 (9月4日)

- 1回戦 旭川西 2-1 勝利
- 2回戦 旭川実業 0-2 負け
- 3位決定戦

旭川明成 2-0 勝利第3位

◇第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会旭川地区競技会 (9月18・19日)

予選T 旭川西 2-1 勝利
決勝R 旭川工業 0-2 負け
旭川実業 0-2 負け

◇第11回旭川支部バレーボール冬季大会 (12月10・11日)

予選T 留萌 2-0 (棄権) 勝利
決勝T 旭川工業 0-2 負け
3位決定戦 富良野 2-1 勝利第3位

◇第18回北海道高等学校バレーボール新人大会旭川地区予選会(1月14・15日)

予選T 旭川南 2-0 勝利(棄権)
決勝R 旭川工業 1-2 負け
旭川実業 0-2 負け
旭川東 0-2 負け第4位

【令和5年度】
◇第19回旭川支部バレーボール春季大会 (4月22・23日)

1回戦 旭川東 2-1 勝利
2回戦 旭川工業 0-2 負け
3位決定戦 富良野 0-2 負け第4位

◇北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 旭川支部予選会 (5月23・25日)

予選R 旭川東 1-2 負け
旭川勝豊 2-0 勝利
旭川西 2-0 勝利
旭川実業 0-2 負け

●女子バレーボール部

旭川北高校女子バレーボール部は、選手19名、マネージャー2名で活動しています。今年度も感染症の影響が残る中、「できる範囲で最大限やる」「限られた時間を大切に」「メンバ



ーを大事にする」ことを心がけてきました。昨年度、全道大会出場権を獲得したにもかかわらず、小樽で開催予定だった全道大会が感染症拡大のため中止となり、その悔しさをチーム力に変えてがんばって来ました。『私立を倒すのはウチらだ！』そしてもう一度全道大会へ」をチーム目標に掲げてきました。多くの練習試合や合宿に参加させていただき、チーム力がなかなか伸びない苦しい時期もありましたが、全道各地の強豪校に食らいついていくなかで、最大限成長してきました。最後の高体連支部大会では目標に届きませんでした。しかし、全道のライバルチームの存在のおかげでここまで最大限成長できたと思っています。新チームも、旭川北高卒業生のみならず、OB・OGであることを誇りに思えるような試合を展開します。この春からは観戦制限も解除されました。ぜひ試合を見に来てください。これからも応援よろしくお願ひします。

【令和4年度】
◇北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会旭川支部予選会(5月25・27日)

予選グループ戦 第1試合
旭川北 2 (25-16, 25-20) 1 留萌
決勝トーナメント 2回戦
旭川北 2 (25-25, 25-20) 1 旭川商業
旭川北 0 (8-25, 4-25) 2 旭川大学高

決勝リーグ 第1試合
旭川北 0 (12-25, 15-25) 2 旭川実業
決勝リーグ 第3試合
旭川北 0 (13-25, 23-25) 旭川龍谷

◇旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会
※第4位(第4シード権獲得)

1回戦 旭川北 2 (25-16, 25-21) 0 旭川東
2回戦 旭川北 0 (21-25, 19-25) 2 旭川明成
3位決定戦 旭川北 1 (25-24, 25-29) 2 旭川商業

※第4位(第4シード権獲得)
◇全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会旭川地区競技会 (9月18・19日)

1回戦 旭川北 1 (25-19, 25-23) 2 旭川永嶺
2回戦 旭川北 1 (25-13, 25-25) 2 旭川明成

◇旭川支部バレーボール冬季大会 (12月10・11日)

1回戦 旭川北 2 (25-16, 25-12) 0 旭川西
決勝リーグ 第1試合
旭川北 0 (16-25, 7-25) 2 旭川龍谷
決勝リーグ 第2試合
旭川北 0 (10-25, 19-25) 2 旭川明成
決勝リーグ 第3試合
旭川北 2 (28-15, 25-15) 0 旭川永嶺

※第3位(第3シード権獲得)
【令和5年度】
◇旭川支部バレーボール支部春季大会 (4月22・23日)

1回戦 旭川北 2 (26-25, 24-10) 0 留萌
2回戦 旭川北 0 (17-25, 18-25) 2 旭川明成
予選グループ 第1試合
旭川北 2 (25-25, 18-16) 0 旭川西
決勝トーナメント 第1試合
旭川北 0 (10-15, 10-25) 2 旭川龍谷

1回戦 旭川北 2 (26-10, 24-10) 0 留萌
2回戦 旭川北 0 (17-25, 18-25) 2 旭川明成
予選グループ 第1試合
旭川北 2 (25-25, 18-16) 0 旭川西
決勝トーナメント 第1試合
旭川北 0 (10-15, 10-25) 2 旭川龍谷

●サッカー部

令和5年度のサッカー部は、顧問の安藤先生と、木下先生とともに3年生13名、2年生17名、1年生13名、マネージャー4名の計47名で活動しています。現在北高は進学校で唯一、道北ブロックリーグ1部に所属しています。私たちが、このステージで戦えるのは先輩達の努力のおかげです。私たちも1部残留を達成し、後輩達にたすきを繋ぎたいと思います。



この場を借りて先輩達にお伝えしたいことがあります。令和5年度の地区高体連でサッカー部は創部初となる優勝を果たしました。実業が不参加(プレミアシードで全道大会から参加)でしたが、昨年の30年ぶりの選手権全道出場に続き、二期連続で全道大会に出場することができました。残念

ながら全道大会では先制したのですが、リードを守り切れず敗退してしまいました。54年ぶりの高体連全道での勝利は持ち越しとなりましたが、同じ悔しさを味わった後輩に託したいと思います。今後とも応援よろしくお願ひします。

【令和4年度】

◇高体連旭川地区予選

1回戦 高専 0-1

◇選手権旭川地区予選

1回戦 留萌 4-0

2回戦 永嶺 1-0

3回戦 南 1-1 PK12-11

決勝 旭大 0-3 (準優勝で全道大会進出 30年ぶり5回目)

◇選手権北海道予選

1回戦 網走南ヶ丘 1-1 PK3-5

◇道北ブロックリーグ1部(全14節)

5勝4分5敗 4位(8チーム中)で残留

◇フットサル旭川地区予選

1勝1分1敗の2位で決勝トーナメント進出

1回戦 実業 2-5

【令和5年度】

◇高体連旭川地区予選

2回戦 東 2-1

3回戦 明成 2-1

決勝 志峯(旧 旭大)2-1 (創部以来初の優勝で全道大会進出 2年ぶり8回目)

◇高体連北海道予選

2回戦 酪農学園大学附属とわの森三愛 1-2

◇道北ブロックリーグ1部(全14節中8節消化時点)

5勝3分 1位(8チーム中)

●卓球部

卓球部は、男子8名、女子9名の計17名で活動しています。新体制になり、先輩方から学んだことをこれからも引き継いでいけるよう日々練習に励んでいます。男女での団体、ダブルス、シングルスでの全道大

会出場を目標に、部員同士切磋琢磨しながら部活動に取り組んでいます。北高卓球部のOB・OGの方々には、日頃より激励のお言葉をいただいたり、練習に参加していただいたりと大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。保護者、顧問の先生方、その他自分たちに関わっていただいているすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、恩返しができるよう精一杯努力していきます。これからも応援をよろしくお願ひします。



【令和4年度】

◇北海道高等学校卓球選手権大会旭川支部予選会

女子団体 優勝

男子団体 第3位

女子ダブルス 清杉・西村組 優勝

男子ダブルス 徳島・青山組 第3位

女子ダブルス 徳島・青山組 優勝

女子シングルス 清杉 準優勝

男子シングルス 谷島 第3位

女子シングルス 西村 第5位

男子シングルス 徳島 準優勝

女子シングルス 成田 第5位

◇北海道高等学校卓球選手権大会

女子団体 ベスト8

女子ダブルス 清杉・西村組 ベスト8

男子ダブルス 徳島・青山組 1回戦敗退

女子シングルス 清杉、西村 2回戦進出

男子シングルス 谷島 1回戦敗退

女子シングルス 徳島 3回戦進出

男子シングルス 成田 1回戦敗退

◇第77回 国民体育大会卓球競技北海道予選会

女子シングルス 清杉・予選Bブロック 3回戦進出

男子シングルス 西村・予選Cブロック 1回戦敗退

谷島・予選Dブロック 3回戦進出
成田・予選Dブロック 3回戦進出
徳島・予選Dブロック 3回戦進出
青山・予選Bブロック 2回戦進出
◇北海道高等学校卓球大会旭川支部予選会
女子団体 優勝
男子団体 第3位
男子シングルス(スーパードル) 徳島 ベスト4
女子ダブルス 谷島・藤野組、宇高・畠組 ベスト4
女子シングルス(スーパードル) 谷島 ベスト4、宇高、藤野 ベスト8
◇北海道高等学校卓球大会
女子団体 3回戦進出
男子団体 2回戦進出
女子ダブルス 谷島・藤野組、宇高・畠組 2回戦進出
◇北海道高等学校卓球選手権大会
ジュニア女子シングルス 谷島 4回戦敗退、三谷、藤野、畠 2回戦敗退
ジュニア男子シングルス 徳島、青山、菊井 2回戦敗退
一般女子シングルス 清杉 5回戦進出、谷島 3回戦進出、宇高 1回戦敗退
一般男子シングルス 徳島、青山 3回戦敗退
【令和5年度】
◇全旭川高校卓球選手権大会
女子団体 女子A 優勝、女子B 3位
男子団体 男子A 2位
女子ダブルス 谷島・清杉組 優勝
男子ダブルス 宇高・畠組 ベスト4
女子シングルス 清杉 準優勝
男子シングルス 徳島・青山組 優勝
女子シングルス 谷島 ベスト4
男子シングルス 宇高 ベスト8
◇北海道高等学校卓球選手権大会旭川支部予選会
女子ダブルス 谷島・清杉組 2位

男子シングルス 徳島 3位、青山 5位
女子シングルス 宇高、谷島、清杉 5位
◇北海道高等学校卓球選手権大会
女子ダブルス 谷島・清杉組 2回戦敗退
男子シングルス 徳島、青山 1回戦敗退
女子シングルス 宇高、1回戦敗退
谷島、清杉 3回戦敗退

●バドミントン部

バドミントン部は男子20名、女子10名の計30名で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。

昨年度は北海道選手権で女子ダブルスが、新人戦では男子団体がそれぞれ全道大会出場を果たすことができました。

旧体育館が使用できなくなったことに加え、コロナ禍で練習や体育館割が激減しましたが、顧問の先生をはじめ、OB・OG、大学生、社会人の方々の応援、ご支援、ご指導をいただきながら活動させてもらっています。

今後も周囲の協力があって我々の活動があることに感謝し、先輩方が残してくれた伝統や文化を残しつつ、自分たちに何ができるかをみんなで模索し、「文武両道」「凡事徹底」を目指して多くの人に恩返しができるよう努力します。

【大会結果】

◇国民体育大会旭川予選

男子単 山崎 ベスト16

女子複 阿部・菅野5位(全道大会出場)

男子2部単 高橋 ベスト4

女子2部単 見角 優勝

◇国民体育大会北海道予選会

女子複 阿部・菅野 2回戦敗退

◇高体連旭川地区予選

男子団体 4位

女子団体 4位

男子複 小林・山崎 ベスト8

男子単 山崎 ベスト8

女子単 阿部 ベスト8

●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、顧問の手塚先生、本田先生、保護者の方々ははじめ、たくさんの方々を支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。夏の平日は基礎を身につけるため、グラウンドでキャッチボールやノックなどの練習をして、土日には練習試合や合宿を行い、経験を積んでいます。冬は個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。コロナウイルスによる制限が緩和され、むかえた今年の高校連では、旭川商業に10対16で負けてしまい、5連覇とはなりませんでしたが。

新チームでは、先輩方から教わったことを大事にし、人数が少ない中でも自分たちの良いプレーができるよう、感謝の気持ちを忘れずに日々の練習も大切にしていきます。どうかこれからも応援をよろしくお願いします。

【大会結果】

- ◇令和4年度 高校連旭川地区予選
旭川北 13―9 旭川商業(大会4連覇)
- ◇高校連全道大会
旭川北 2―8 遠軽
- ◇選抜全道大会
旭川北・商業 9―8 岩見沢緑陵・農業
- ◇旭川北・商業 2―13 札幌東商業(ベスト8)
- ◇令和5年度 高校連旭川地区予選
旭川北 10―16 旭川商業(全道大会旭川地区第2代表)
- ◇高校連全道大会
旭川北 12―13 岩見沢緑陵・農業

●応援団&チアリーディング部

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部で構成されています。応援団は少林寺拳法部の部員が兼部しており、少林寺拳法の動きのキレを生かして、熱く情熱に満ちた応援で全校を引っ張っています。今年からはコロナから回復して久しぶりに声を出しての応援が可能になったので、今までよりもエンジン全開、北高生

らしいフレッシュで活気あふれる応援を行っています。

チアリーディング部は、野球の全校応援をはじめ学校祭やクリスマスイベントなどで、北高生の皆さんに元気に、笑顔になってもうろうろを目標に、日々の練習に励んでいます。また、地域のイベントにも参加し、北高生だけではなく、私たちを見てくださる方々にエールを送り、地域全体の活性化にもつながればという気持ちで活動しています。活動を通じて、見てくださる方が笑顔になることや、「また見たい」といった温かい言葉をかけていただくことで、何より私たち自身が元気づけられています。

私たちが常に意識している、「笑顔」と「息のあったパフォーマンス」は、部員一人一人が真剣に日々の練習に取り組んでいることと、明るく元気な気持ちによって作りあげられています。先輩・後輩関係なくお互いに提案や指摘をしい、全員で一つの目標に向かって頑張ろうとする雰囲気できているので、これからも、これまで以上にレベルアップして、私たちらしいパフォーマンスを追求し続けたいと思っています。

男子も女子も、私たちは北高応援団として、頑張る皆さんの力になれるよう、また笑顔で格好いい私たちがいられるように、常に全力で活動していきます。

●男子バスケットボール部

今年度は3年生8名、2年生7名、1年生11名とマネージャー3名の29名で活動しています。今年は人数も多く、練習も活気づいています。高校連では地区大会ベスト4まで残ることができましたが、残念ながら全道大会への出場ができませんでした。現在、新チームとなり、気持ちも新たに頑張っています。再び全道大会出場を目指し頑張ってまいりますので、応援をよろしくお願いします。

【令和4年度】

- ◇旭川地区春季大会
1回戦 旭川北 98―58 旭川東

感染症のため大会途中中止

- ◇高校連旭川支部予選(3位)
1回戦 旭川北 80―42 旭川農業
2回戦 旭川北 79―28 留萌
決勝リーグ

- ◇旭川北 66―77 旭川大学
- 旭川北 68―95 旭川工業
- 旭川北 93―45 旭川西

- ◇高校連北海道予選(ベスト8)
- 1回戦 旭川北 83―77 札幌清田
- 2回戦 旭川北 74―51 釧路江南
- 3回戦 旭川北 31―141 白樺学園
- ◇U-18旭川カップ(4位)
- 1回戦 旭川北 81―53 旭川東
- 2回戦 旭川北 78―47 旭川南
- 準決勝 旭川北 71―72 旭川大学
- 3位決定戦

- 旭川北 52―102 旭川工業
- ◇選手権旭川予選(3位)
- 1回戦 旭川北 74―69 旭川永嶺
- 2回戦 旭川北 74―69 旭川南
- 準決勝 旭川北 44―110 旭川龍谷

- ◇旭川支部秋季大会
- 1回戦 旭川北 98―40 富良野
- 2回戦 旭川北 61―88 旭川龍谷

- ◇新人大会旭川予選(3位)
- 1回戦 旭川北 80―39 旭川農業
- 2回戦 旭川北 87―78 旭川実業
- 準決勝 旭川北 55―88 旭川工業
- 3位決定戦

- 旭川北 83―70 旭川大学
- ◇旭川地区春季大会(3位)
- 1回戦 旭川北 76―47 富良野
- 2回戦 旭川北 100―40 羽幌
- 準決勝 旭川北 51―118 旭川工業
- 3位決定戦

- 旭川北 70―68 旭川志峯
- ◇高校連旭川支部予選(3位)
- 1回戦 旭川北 99―47 留萌
- 2回戦 旭川北 60―40 旭川農業
- 決勝リーグ

- 旭川北 42―100 旭川龍谷

旭川北 41―117 旭川工業

旭川北 66―75 旭川志峯

●女子バスケットボール部

今年度は3年生4名、2年生2名、1年生7名の13名で活動しています。コロナ禍の影響で十分な活動ができなかった回数ですが、ようやく本来の形を取り戻しつつあり、高校連支大会も保護者観戦のもと無事に終了することができました。

新チームも旭川支部ベスト4入りを目標に日々練習に励んでいます。人数が少なく、チーム内ではゲーム形式の練習がしにくい状況ですが、他校との練習ゲームや男子部との合同練習を通して自分たちの課題を見つけ、その後の練習で克服できるよう努力しています。

昨年度からはチームウェアを一新し、今春は多くの新メンバーが加わって、ますます意欲的に練習に取り組んでいます。今後も北高女子バスケット部の良さ伝統を受け継ぎながら、全道大会出場を目指して頑張りたいと思います。

【令和4年度】

- ◇旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦 旭川北 83―38 東川
2回戦以降 中止
- ◇全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 旭川支部予選会
1回戦 旭川北 76―40 旭川東
2回戦 旭川北 42―84 旭川明成

- ◇U-18旭川カップ
1回戦 旭川北 94―40 東川
2回戦 旭川北 37―94 旭川明成
敗者戦 旭川北 63―82 旭川商業

- ◇北海道高等学校バスケットボール選手権大会 旭川地区予選会
2回戦 旭川北 47―69 旭川南

- ◇旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会
1回戦 旭川北 83―33 旭川永嶺
2回戦 旭川北 59―85 旭川龍谷

- ◇第35回 北海道高等学校バスケットボール新人大会 旭川地区予選会

1回戦 旭川北 140―35 東川・高専・旭農
2回戦 旭川北 32―68 旭川藤星
【令和5年度】

◇旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦 旭川北 44―58 旭川東

◇全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 旭川支部予選会
1回戦 旭川北 50―69 旭川商業

●山岳部

山岳部は現在男子19名、女子7名、顧問4名で活動しています。春から夏にかけてはほぼ毎日、体カトレーニング・テント設営・調理などの実地練習の他、ペーパーテスト対策・天気図などの学習を行っています。休日は登山を行い、植生や地形を調べたり、隊行動のチームワークを高めるほか、顧問の先生から実践的な技術を教わっています。時には練習登山だけではなく、沢登りや、ワカサギ釣り、クライミング、山スキーなど幅広く活動しています。合宿では、みんなでバーベキューをしたり、夜空に輝く星を見たり、普段の生活ではなかなかない経験をしています。今年からはテント泊や部員同士の交流の制限が緩和され、輪になって焼肉を食べたり、学年関係なしに触れ合うことができ、充実した山行を行いました。



公式大会では地区大会・全道大会を突破し、北海道開催のインターハイ進出を果たすことができました。開催地の代表として、これまでの成果を全力で発揮し、頑張りたいと思います。

【令和4年度】

◇北海道高等学校選抜登山大会
男子2位 女子3位

【令和5年度】

◇北海道高等学校登山競技大会旭川支部予選会
男子2位 女子1位
◇北海道高等学校登山選手権大会
女子2位(全国大会出場権獲得)

●少林寺拳法部

今年度は、1年次の学級数が1間口減少したので、入部者も減ってしまうのではないかと心配していたのですが、新たに9名(女子7名、男子2名)の仲間が入部してくれました。4月から男子4名・女子17名、計21名で活動しました。

今年度は7月のインターハイが地元旭川市で開催されるということもあり、部員達は「何としても出場したい!」と言って熱い闘志を抱き練習に打ち込んだのですが、6月に富良野高校で開催された全道大会では残念ながらあと一歩及ばず、どの種目も全国大会出場枠の次点に泣くことになりました。

少林寺拳法は人が人を審査する難しい競技だと思っています。ほんのわずかな差で全国大会には出場できませんでしたが、顧問としては、この結果に堂々と胸を張って欲しいと思います。厳しい練習に打ち込んだ分、賞状やメダルとは違った貴重な高校生活を送ったと思います。かつて無く、厳しい練習に取り組んだメンバーに拍手を送ります。

【令和4年度】○内の数字は学年

◇高体連全道大会
(6月11・12日 北海学園札幌高等学校体育館)
(男子)自由組演武 森口③・平山③組 2位
(女子)団体演武 室田③・小田③・山川③・金箱③・上野③・武田②組 3位

◇高体連全道大会
(7月29・31日 高知県立春野運動公園 体育館)
(男子)自由組演武 森口③・平山③組 出場

◇新人戦全道大会

(12月18日 旭川市東光スポーツ公園武道館)
(女子)団体演武 畠山②・成澤②・藤田②・吉田②・中枝①組 3位

規定単独演武 岩川① 2位
中越① 3位

自由単独演武 畠山② 3位
規定組演武 小暮①・中枝①組 2位

◇新人戦全道大会

(3月26・29日 香川県善通寺市民体育館)
規定単独演武 岩川① 出場
規定組演武 小暮①・中枝①組 全国10位

【令和5年度】

◇高体連全道大会
(6月10・11日 北海道富良野高等学校体育館)
(女子) 少林寺拳法女子総合の部3位
団体演武 畠山③・成澤③・藤田③・中枝②・小暮②・中越②組 3位

単独演武 岩川② 5位
畠山③ 6位
自由組演武 成澤②・藤田②組 5位
見習い演武 白井 5位

●剣道部

今年度は新入部員が少なく、現在は男子4名、女子4名、総勢8名で活動しています。少ない部員ですが先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に、「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。凛とした姿で、はつらつと活躍できる剣道部を目指しています。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じであるという考えのもと、文武のきりかえをしっかりと行って高校生活を充実させることができよう努力しています。

昨年度からはコロナ前に近い形で大会が行われるようになりました。練習もマスクをしながらではありますが、徐々に夏合宿もするなど、以前より鍛えることができるようになってきました。11月の支部新人大会では女子が団体、個人ともに優勝、1月の全道新人大会では男子個人で準優勝する

ことができました。今年度も春季大会で女子が優勝し、男子も団体3位、高体連支部大会は女子団体で3連覇を達成し、男子も団体2位で男女で全道大会に出場することができました。今後もコロナの心配はありますが、大会が行われることに感謝し、全国出場を目指して頑張りたいと思います。新人戦は男女とも団体のメンバーがそろわず苦戦が予想されますが、これからの魅力的な剣道部づくりを目指して頑張っていきたいと思っています。

日頃から北高の活動を支えてくださっている方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしくお願いたします。

【令和4年度】

◇高体連旭川支部新人大会
女子団体優勝、男子団体Ⅱ部優勝
女子個人 優勝 山崎(1年)、
3位 柴田(1年)、4位 小菅生(2年)
男子個人 3位 佐々木(2年)
※以上全道出場

◇高体連全道新人大会
男子個人2位 佐々木(2年)
女子個人ベスト8

【令和5年度】

◇全道段階別選手権大会出場
男子3段の部 佐々木(3年)、鹿内(2年)
女子3段の部 小菅生(3年)、柴田(2年)、山崎(2年)、岩本(2年)

◇春季大会
男子団体3位、女子団体優勝
男子個人2位 佐々木(3年)、7位 鹿内(2年)
女子優勝 小菅生(3年)、2位 柴田(2年)、8位 岩本(2年)

◇高体連旭川支部大会

男子団体2位、女子団体優勝
男子個人 3位 佐々木(3年)、6位 鹿内(2年)
女子個人 優勝 小菅生(3年)、2位 柴田(3年)

◇高体連全道大会

(7月29・31日 高知県立春野運動公園 体育館)
(男子)自由組演武 森口③・平山③組 出場

◇新人戦全道大会

(12月18日 旭川市東光スポーツ公園武道館)
(女子)団体演武 畠山②・成澤②・藤田②・吉田②・中枝①組 3位

規定単独演武 岩川① 2位
中越① 3位
自由単独演武 畠山② 3位
規定組演武 小暮①・中枝①組 2位

◇新人戦全道大会

(3月26・29日 香川県善通寺市民体育館)
規定単独演武 岩川① 出場
規定組演武 小暮①・中枝①組 全国10位

5位 山崎(2年)、7位 岩本(2年)
※男女団体、個人6名全道出場

●アーチェリー部

アーチェリー部は3年生12名、2年生14名、1年生5名の計31名で活動しています。
2023年春季全道大会では、女子団体優勝(2連覇)を果たしました。今夏は36年振りの北海道インターハイ(帯広開催)となりますが、好結果を残せるよう、部員一同精進して行きたいと思っています。どうか応援よろしくお願いたします。

【令和4年度】

◇全国選抜大会(3月、静岡県掛川市)

女子個人 決勝5位(入賞) 鈴木 悠華

男子個人 決勝25位 高橋 侑椰

【令和5年度】

◇春季全道大会(6月、帯広の森)

女子団体優勝(鈴木、加藤、佐藤莉、三戸)

男子団体3位(高橋、渡邊、田中、小山)

◇インターハイ(8月、帯広の森陸上競技場)

女子団体(鈴木、加藤、佐藤莉、三戸)

男子個人(高橋、侑椰) ※出場予定

◇国民体育大会(10月、鹿児島県鹿児島市)

女子 本郷椎夏 ※出場予定

●囲碁部

現在 囲碁部は男子13名、女子3名で活動しています。

普段は囲碁を打ったり、将棋を指すという活動をしています。このような活動を地道に続けながら力をつけています。

そして、5月17、19日の囲碁の全道大会では、団体4位という結果で、入賞にあと一步及びませんでした。秋で入賞できるようにさらなる努力を重ねます。

今年度も囲碁大会と将棋大会に意欲的に参加し、好成績を残せるようにこれからも精進していきたくと思っています。どうか、応援よろしくお願いたします。

【大会結果(5月分まで)】

◇全道囲碁大会(5月18・19日函館市)

男子団体(4位)

個人(大場7位、岩波9位、出村10位)

◇全道将棋大会(5月24、26日北見市)

個人(高野71位、山瀬56位、岩波49位)

●吹奏楽部

吹奏楽部は1年生12名、2年生15名、3年生16名の計43名で活動をしています。ここ数年はコロナ禍により、いろいろな活動が自粛、中止を余儀なくされてきましたが、徐々に音楽活動もコロナ禍前に戻りつつあります。最近では演奏や表現の技術が少しずつ向上し、イオンモールはじめ地域での音楽活動も増えてきました。

令和5年6月に開催された高文連上川支部音楽発表大会では、十数年ぶりにコンクール部門で優秀賞を受賞し、小樽市で開催される全道大会へ参加することとなりました。また、9月には定期演奏会を旭川市民文化会館大ホールにて開催する予定です。ぜひご来場ください。

引き続き、よりよい音楽活動を目指して部員一丸となって努力していきたくと思います。

【令和4年度の活動】

◇スプリングコンサート開催

◇北海道音楽大行進・アフターコンサート

出演

◇高文連上川支部音楽発表大会 発表部門参加

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 高等学校A編成の部 金賞

◇第46回定期演奏会開催

◇イオンモール旭川西店コンサート出演

◇北海道アンサンブル・個人コンクール

クラリネット6重奏 金賞

金管8重奏 金賞

トランペット独奏 金賞

◇日本ジュニア管打楽器コンクール

金管8重奏 本選出場(東京都)

【令和5年度の活動】

◇スプリングコンサート開催

◇北海道音楽大行進・アフターコンサート

出演

◇高文連上川支部音楽発表大会

コンクール部門 優秀賞(全道大会出場)

(今後の予定)

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選

高等学校A編成の部出場予定

◇9月10日 第47回定期演奏会開催予定(旭川市民文化会館大ホール)

●写真部

写真部は現在、1年生8名、2年生2名、3年生7名の計17名で活動しています。

普段の活動では校内や校外で撮影会を行います。年に数回はプロの写真家の方をお呼びして、日々撮影技術の向上を目指して励んでいます。最近では他部からの撮影依頼も増え、写真部として様々な場面での活躍がありました。

今後も多くの大会で北高写真部の名を轟かせられるよう努力し、写真の良さを伝えていけるように頑張ります。



増井 明日風(全国推薦作品)



村椿 紬音(最優秀賞作品)

【成績・結果】

◇高文連上川支部写真展・研究大会

入選 増井明日風・藤田咲希

奨励賞 角井菜子

◇北海道高等学校文化連盟第46回全道高等学校写真展・研究大会

入選 増井明日風

佳作 藤田咲希

全国推薦 増井明日風

◇第70回記念写真道展

第4部学生部門最優秀賞 村椿紬音

◇明治安田生命2022マイハピネスフォ

トコンテスト

佳作 藤田咲希・秋山心花

●美術部

今年度美術部は3年生9名、2年生7名、1年生5名の計21名で活動し、油彩、ペン画、鉛筆画、水彩、立体のジャンルで質の高い作品作りを目指しています。

昨年の高文連全道大会では全国推薦1点、全道優秀2点、入選13点と大健闘しました。また、3年ぶりに開催された旭川冬まつり高校生雪像甲子園では最優秀賞を受賞しました。

美術部卒業生は現在まで、東京藝術大学、多摩美術大学、金沢美術工芸大学、長岡造形大学、秋田公立美術大学、教育大岩見沢等へ進学しています。今後も学業と両立しながら活躍することを期待しています。



●新聞局

新聞局は主に学校行事を記事にして発行しています。できるだけ、本校生徒が身近に感じてもらえるような話題を取材して、新聞の紙面を工夫し、読みやすいものになるよう努めています。北高新聞が生徒にと

って欠かせない情報誌になれば、新聞発行の意味があると思っています。

現在は3年生2名の局員（2名とも他の文化系部活動との兼部）で活動しています。できれば、現1年生から新聞局員が入ってくると局としても嬉しいです。伝統のある北高新聞が長く北高生に読み継がれ、親しまれると思いますので、ぜひ局員募集中です。

今年度、教育実習生と新採用教員の紹介についての新聞を発行しました。今後は生徒会と協力して、北高祭新聞を発行する予定です。

毎回いろいろな人の支えがあつて、新聞を発行することができています。今後とも温かい目で北高新聞を愛読していただけたらうれしいです。

●演劇部

令和4年度演劇部は1年生3名、2年生2名、3年生4名の計9名で活動しました。昨年度は5月の合同公演「劇団氷点華」の上演をはじめとし、7月の学校祭、9月の高文連上川支部大会、そして11月の全道大会、3月の「春の演劇祭」など、例年とほぼ変わらず活動を行うことができました。

特に11月の全道大会は約20年ぶりの出場だそうで、貴重な体験をさせていただきました。結果としては奨励賞という形に落ち着きましたが、1・2年生共にとても良い経験ができたと思います。

そして、今年度は新たに2名の新入部員を加え、1年生2名、2年生3名、3年生2名の計7名で活動しています。現在は5月の合同公演を無事成功させ、7月の学校祭に向けて準備を始めているところです。3年生は5月いっぱいまで既に引退し、残る5名で今年度は活動していきます。今後ともより良い作品づくりに努めていきますので、よろしくお願ひいたします。

●華道部

私たち華道部は、今年度2年生2名で活

動しています。2名とも兼部していることもあり、普段の活動では、月に一度生花店から届けられる花材を使って花を生けています。使う花材は時期によって様々で、四季の移り変わりを感じることもできます。また、活動の際は、講師の立岩先生がとも丁寧な指導してくださり、作品の流れや見方などさまざまなアイデアやアドバイスをいただきながら、自分の作品作りの質をより高めることができます。

学校祭では普段より豪華な花材を使って作品を作り、「北高花展」という展示会を開いています。日々の活動の集大成なので、部員一人一人が一生懸命に作品に取り組みます。また、部員全員で大規模なセンターピース作りにも挑戦しています。

秋に行われる池坊インターネット花展では、自分の作品を撮影してネット上にアップロードして審査を受けます。今年も参加予定なので、ノミネート作品に選ばれるよう、稽古に励みたいと思っています。

生け花に基本的なルールはありますが、人によって同じ花材、花器を使ったとしても同じ作品にはなりません。今後の活動でも、自分自身の想像力を広げながらより花が生きる作品を作っていきたいと思っています。

●茶道部

令和5年度、1年生の入部は女子2名で、2年生2名、3年生8名、計12名で活動しています。活動状況は、月曜日は講師の立岩先生ご指導のもと稽古に励み、木曜日は自主練習で、3年生が中心となり基本練習の席入りや帛紗さばきなどの割稽古、基本のお点前を行っています。コロナウイルス感染症の影響で、表千家のお茶席には3年間参加できておりません。活動できる場面がとてまもなく、残念な状況です。

また、毎年7月の学校祭は、日頃の活動成果を披露できる重要な行事です。昨年度は、学校祭の入場者が在校生と保護者1名に制限されたため、一席の客数を5名まで

に制限を設けて2日間実施いたしました。生徒たちは、お茶席でお点前を披露するために、日々稽古に取り組み、3年生を中心に無事にお茶席を終わらせることができました。2年生も半東の役割と1年生の指導をしっかりと担っていました。

今年度は一般公開も2日間行われますが、部員数の減少と3年生の露店が復活することから、土曜日一日のみでのお茶席の実施になる予定です。

3年生は7月で引退し、8月からは2年生中心となり、部活が行われます。部活動規定の変更により、3年生引退後の部員数が5名を下回った場合は今年度の部員募集ができないこととなっています。来年度も学校祭でのお茶席など最後まで活動していきたいと思っています。

●インターアクト部

現在私たちインターアクト部は3年生2名、2年生4名、1年生4名の合計10名で旭川北ロータリークラブのご支援のもと、様々なボランティア活動に取り組んでいます。



インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視点に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。人数が多いですが、一人一人が自分の役割を見つけ時には意見を出し合い、より良い活動になるように頑張っています。コロナの影響で例年通りの活動ができませんでしたが、これからも私たちができる範囲で頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

①美化活動

・校内の清掃

・学校敷地内および周辺のごみ拾い

②募金活動

・ペットボトルキャップ・リングブルの回収

・赤い羽根共同募金活動の校内募金実施

・あしなが学生募金ボランティア

③地域との関わり

・雪だるまでお出迎え(旭川駅前)

・春光住民児童センターボランティア

・障害者スポーツイベント

・旭川市障害者週間記念事業参加

④大会参加

・高文連上川支部ボランティア研究大会

・高文連全道ボランティア研究大会

・旭川北ロータリークラブ例会

・国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会

●文芸部

3月に1名の卒業生を送り出し、今年度は廃部になる関係で新入部員を迎え入れることができません。3年生女子1名、2年生1名と、顧問2名の手厚いサポートを受けながら活動しています。

昨年度は高文連旭川支部研究会、全道研究会とともに新型コロナウイルスに負けることなく参加することができました。支部では多数の作品が入選し、優秀賞が2作品、佳作が8作品と多くの賞状を持ち帰ることができました。全道大会では、2年生部員が短歌部門で「山車担ぐ 男ら囁す 交差点 橙色の 夜はこれから」という歌を詠み、優良賞を獲得し、北海道・東北大会へ推薦されました。

その他にも学校祭で写真部とコラボした展示や、新聞局の発行する学校新聞にリレー新聞を掲載する等の取り組みをすることができました。部誌「玉響」も発行し、創作活動に励んでいます。

少ない人数ではありますが、文芸部の活動期間も限られたものとなっていますが、来年度北高文芸部として有終の美を飾れるように、今後の活動も頑張っていきます。

●理科実験研究部

私たちが理科実験研究部は科学に関する疑問について研究し、その成果を論文にまとめ、大会などで発表しています。

昨年は、セミが環境を評価する「環境指標」として利用できるのかを研究しました。旭川市内の公園を面積によって3段階に分け、旭川市に生息する5種のセミの抜け殻がどのように分布しているのかを調べました。その結果、3種のセミは樹木被度(半径1㎏内における樹木の被覆率)と、含水率(土壌の水分含有率)の指標として利用できる可能性があることがわかりました。

この研究は全道大会の研究発表生物部門で奨励賞、日本学生科学賞北海道審査会では北海道教育委員会教育長賞を受賞しました。さらに、一昨年のモンシロチョウの研究が、総文祭で最優秀賞を受賞したことが評価され、旭川市文化奨励賞をいただきました。

今年は新入部員が4名入り、現在8名で活動しています。昨年までは高文連全道大会がオンラインでしたが、今年は4年ぶりに対面での開催になります。私たちにとっては初めての対面開催に緊張していますが、しっかりと準備をして臨みたいと思っています。

【活動報告・受賞結果】

- ◇わくわくサイエンス in 科学館(6月、2月)
- ◇高文連上川支部理科研究発表大会 総合賞・奨励賞
- ◇高文連全道理科研究発表大会 研究発表(生物部門) 奨励賞
ポスター展示部門 優秀ポスター賞
- ◇日本学生科学賞北海道審査
北海道教育委員会教育長賞(全道一位)
- ◇旭川市文化奨励賞
- ◇日本動物学会北海道支部大会
優秀発表賞

●放送局

私たちが放送局は、新入局員5名(3年生

1名含む)を迎え、1年生4名、3年生4名の8名と顧問の鈴木証先生で活動しています。

先日は北海道高等学校文化連盟第47回全道高等学校放送発表大会兼第70回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会があり、3年生がアナウンス部門で2位に、同じく3年生が朗読部門で6位に輝きました。ラジオドラマ部門では、2位を獲りました。いずれも全道大会に出場しますので、より技を磨いて全国大会に駒を進められるよう努力してまいります。

また、お昼の放送をはじめとした日頃の活動にも全力で取り組み、ほぼ毎日行っている発声練習の成果を存分に発揮し、北海道放送局の声を轟かせています。

校外活動では、月2回、隔週の月曜日にFMりべーの「月曜宝くじ」という番組を担当しています。また、1月末にICTパーク(旧国劇)で行われる、「まちなか学生映画祭」でも毎年参加しています。観に来ていただいたり、聴いていただいたりすると嬉しいですね。

結びになりますが、私たちが放送局は体育館のおんぼろ機材にも負けず、さらに高みを目指して頑張ります。いずれは新しい機材も手に入れます。応援よろしくお願いたします。

なお、NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会のラジオドラマ部門で、北海道放送局の作った「Henergy」という作品が、最優秀賞に輝き、7月24日から東京で行われる全国大会への出場権を獲得しました。番組部門での全国大会出場は2010年以来13年ぶり、全道大会優勝は2002年「白鳥先生がいらいしゃった頃」以来21年ぶりとなります。



また、7月22日から北海道内各地を舞台に行われる、全国高校総体(インターハイ)の総合開会式で、放送局3年生の谷佳音子さんが、司会を務めることになっています。

●音楽部

私たちは3年生20名、2年生16名、1年生12名の48名と朝野先生と冨田先生で活動しています。北高音楽部はバンドごとに学祭や部内発表会などのイベントに向けて日々練習を重ねています。人数が多いためバンドの数も多く、なかなか練習の機会をそれぞれが多くなることはできませんが、各自家で自主練習をしたり、街中のスタジオを借りたりして譲り合いながら部室を使っています。

昨年度も部員全員から集めた部費で新しいギターアンプなどを購入し、素敵な演奏を観客の方々に届けることができました。また、北高祭で演奏する場を設けていただいたり、音楽部員で計画を立て部内発表会を開催したり、多くの方々の協力により様々な貴重な経験をすることができました。

先輩方が代々引き継いでくださり、現在人数も増えて規模がとて大きくなった北高音楽部を廃れさせることのないよう、これからも努力を惜しまず、周りの仲間と支えてくださる方々全員への感謝を忘れず、邁進していきます。

●書道部

今年度は1年生11名が入部し2年生7名、3年生3名の合計21名で高文連に向けて日々作品制作をしています。活動は本校卒業生である顧問の日暮 豊先生より、専門的なアドバイスをいただきながら技術を磨いています。

昨年は北高書道部初となる道新花火大会の前で書道パフォーマンスを披露しました。また、西イオンモールでは5月と9月に二度パフォーマンスを実施し、護国神社では世界平和を祈念した作品を奉納させていた

できました。

今年度は様々な展覧会出品に向け、努力を惜しまず部員と協働しながら感動する作品を創りあげたいと想いを募らせています。

これから書道部は長年続く伝統を守り、書の新しい可能性にチャレンジし、より一層邁進していきたいと思います。



●生徒会

生徒会執行部は、現在1年生6名、2年生9名、3年生10名の計25名で活動しています。

北高生徒会は、毎年4月の新入生歓迎会に始まり、北高祭、体育大会、クリスマスイベントなどを企画し、運営しています。その中でも最も大きな行事が北高祭で、その企画立案や調整、運営など執行部内を各セクションに分けて仕事をしています。

生徒会行事を運営するためには、執行部内の連携がとて重要で、報告はもとより、連絡・相談を重ねながら、大きなミスのないように留意しています。

今年度の北高祭は、コロナ禍によって中止や縮小されていたものを、コロナ禍前の内容に取り戻す一歩を踏み出すことです。全てを一気に取り戻すことはできませんが、一般公開を再開し、各学年の合唱・演劇・展示、露店も3学年と部活動に限り開催します。

共に学校生活を送る全校生徒や、先生方はじめ関わってくださる全ての方々への感謝を忘れずに全力で向き合っていきたいと思えます。

今後とも、旭川北高等学校生徒会執行部をよろしくお願いたします。

●同窓会役員名簿

| 役職名 | 氏名 | 卒業期 |
|-------|-------|-----|
| 顧問 | 山形 積治 | 北8 |
| 顧問 | 西館 勝友 | 北13 |
| 顧問 | 八重樫和裕 | 北18 |
| 顧問 | 川島 崇則 | 北18 |
| 顧問 | 尾崎 信彦 | 北25 |
| 会長 | 山本 淳一 | 北28 |
| 副会長 | 潮 日出夫 | 北25 |
| 副会長 | 山川 国土 | 北31 |
| 副会長 | 酒井 保則 | 北41 |
| 副会長 | 近藤 博之 | 北43 |
| 会計監査 | 庄司 和晴 | 北18 |
| 会計監査 | 吉村 千鳥 | 北25 |
| 会計監査 | 富田 公裕 | 北25 |
| 総務部長 | 水口 貴浩 | 北39 |
| 総務副部長 | 田中 充 | 北25 |
| 総務副部長 | 城 裕一 | 北25 |
| 総務副部長 | 菅原 徹 | 北32 |
| 総務副部長 | 小枝 万美 | 北32 |
| 会計部長 | 園田 和宏 | 北33 |

| 役職名 | 氏名 | 卒業期 |
|--------|-------|-----|
| 会計副部長 | 栗山 英 | 北39 |
| 文化部長 | 木村 公俊 | 北25 |
| 文化副部長 | 山中いつ子 | 北19 |
| 文化副部長 | 鈴木 弥生 | 北25 |
| 文化副部長 | 平間 明鑑 | 北26 |
| 文化副部長 | 小菅千賀子 | 北29 |
| 文化副部長 | 赤松 浩恵 | 北30 |
| 校内担当 | 本田 晴樹 | 北32 |
| 校内担当 | 笹森 敦 | 北37 |
| 校内担当 | 安藤 光泰 | 北43 |
| 札幌会会長 | 山川 広行 | 北25 |
| 札幌会副会長 | 加門 清 | 北25 |
| 札幌会副会長 | 増田 幸夫 | 北28 |
| 札幌会事務局 | 北本 宏治 | 北37 |
| 会計監査 | 赤坂 誠司 | 北33 |
| 東京会・顧問 | 山口 哲男 | 北18 |
| 東京会会長 | 柿林 博司 | 北22 |
| 東京会副会長 | 田隴 美香 | 北27 |
| 岩手会会長 | 牛崎 鏝二 | 北6 |

旭川北高
同窓会役員・幹事名簿

●各期幹事長名簿【定時制課程】

| 卒業年度 | 期 | 氏名 |
|-------|----|-------|
| 昭32定卒 | 1 | 山崎 安光 |
| 昭33定卒 | 2 | 小泉 貢 |
| 昭34定卒 | 3 | |
| 昭35定卒 | 4 | 谷口 省一 |
| 昭36定卒 | 5 | 小林 成吏 |
| 昭37定卒 | 6 | 金山 紘一 |
| 昭38定卒 | 7 | 森下 義治 |
| 昭39定卒 | 8 | 窪田 冠治 |
| 昭40定卒 | 9 | 小野寺 勤 |
| 昭41定卒 | 10 | 小林 輝雄 |
| 昭42定卒 | 11 | 千葉青次郎 |
| 昭43定卒 | 12 | 田村 篤 |
| 昭44定卒 | 13 | 神藤 茂春 |
| 昭45定卒 | 14 | 大屋 秀行 |
| 昭46定卒 | 15 | 深谷富美雄 |
| 昭47定卒 | 16 | 奥山 寿雄 |
| 昭48定卒 | 17 | 錦川 敏文 |
| 昭49定卒 | 18 | 堀井 敏明 |
| 昭50定卒 | 19 | 千村 敦雄 |
| 昭51定卒 | 20 | |
| 昭52定卒 | 21 | 小柳 智弘 |
| 昭53定卒 | 22 | 菅野 敏彦 |
| 昭54定卒 | 23 | 泉 誠 |
| 昭55定卒 | 24 | 柴田 仁 |
| 昭56定卒 | 25 | 川方 和人 |
| 昭57定卒 | 26 | 中原 泰司 |
| 昭58定卒 | 27 | 山中 敏行 |
| 昭59定卒 | 28 | 日塔 浩之 |
| 昭60定卒 | 29 | 太田 房枝 |
| 昭61定卒 | 30 | 入野 直美 |
| 昭62定卒 | 31 | 上林山健次 |
| 昭63定卒 | 32 | 篠原 誠 |

| 卒業年度 | 期 | 氏名 |
|-------|----|-------|
| 平1定卒 | 33 | 窪田 竜三 |
| 平2定卒 | 34 | 新見 稔 |
| 平3定卒 | 35 | 西尾 悟 |
| 平4定卒 | 36 | 浅井 智希 |
| 平5定卒 | 37 | 大橋 恵子 |
| 平6定卒 | 38 | 早川 立人 |
| 平7定卒 | 39 | 細田 勝巳 |
| 平8定卒 | 40 | 遠藤 智康 |
| 平9定卒 | 41 | 菅原臣一郎 |
| 平10定卒 | 42 | 岡本 香織 |
| 平11定卒 | 43 | 渡辺加代子 |
| 平12定卒 | 44 | 日野 洋一 |
| 平13定卒 | 45 | 島崎 匡世 |
| 平14定卒 | 46 | 福島 達 |
| | | 多田 妙子 |
| 平15定卒 | 47 | 白田 由佳 |
| | | 船田 美咲 |
| 平16定卒 | 48 | 眞田 功嗣 |
| | | 白井 道恵 |
| 平17定卒 | 49 | 渡部 勇太 |
| | | 阿部 裕梨 |
| 平18定卒 | 50 | 齊藤 尚也 |
| | | 越山 宏恵 |
| 平19定卒 | 51 | 小松 純 |
| | | 笠間まどか |
| 平20定卒 | 52 | 大槻 法仁 |
| | | 石神 明希 |
| 平21定卒 | 53 | 澤田 涼子 |
| | | 釜澤 佑紀 |
| 平22定卒 | 54 | 阿部 貴大 |
| | | 三浦 淑美 |
| 平23定卒 | 55 | 白河 卓也 |
| | | 村岡 愛恵 |

| 卒業年度 | 期 | 氏名 |
|-------|----|-------------|
| 平24定卒 | 56 | 船越 信幸 |
| | | 大野 春花 |
| 平25定卒 | 57 | 衛藤 顕太 |
| | | 辻 江梨花 |
| 平26定卒 | 58 | 佐藤 健児 |
| | | 及川 紗希 |
| 平27定卒 | 59 | 川田 雄也 |
| | | 千葉 智生 |
| 平28定卒 | 60 | 千葉藤吉郎 |
| | | 今野 玲奈 |
| 平29定卒 | 61 | 今野 修人 |
| | | 高瀬 弘里 |
| 平30定卒 | 62 | 菅原 悠介 |
| | | 木元 実結 |
| 平31定卒 | 63 | 船越 裕晃 |
| | | 鳴海 楓 |
| 令2定卒 | 64 | 大塚 良 |
| | | 大八木梨紗 |
| 令3定卒 | 65 | ダニス 海 プレンネン |
| | | 松崎ねおん |
| 令4定卒 | 66 | 辻 さくら |
| | | 西塚 愛美 |
| 令5定卒 | 67 | 渡部穂乃花 |
| | | 小野寺滉太 |

●各期幹事長名簿【全日制課程】

| 卒業年度 | 期 | 役職名 | 氏名 |
|------|-----|------|-------|
| 昭21卒 | 市中1 | | |
| 昭22卒 | 市中2 | 副幹事長 | 畠山 昇子 |
| 昭23卒 | 市中3 | 幹事長 | |
| 昭24卒 | 市中4 | 幹事長 | 間 仁一 |
| | 市高1 | 副幹事長 | 石崎 一夫 |
| | | 幹事 | 北原 高男 |
| 昭25卒 | 市高2 | 幹事長 | 工藤 博視 |
| 昭26卒 | 1 | 幹事長 | 寺林 靖夫 |
| 昭27卒 | 2 | 幹事長 | 林 徹男 |
| 昭28卒 | 3 | 幹事長 | 小川 幹雄 |
| | | 副幹事長 | 五十嵐 正 |
| 昭29卒 | 4 | 幹事長 | 干場 武司 |
| 昭30卒 | 5 | 幹事長 | 波岸 順子 |
| 昭31卒 | 6 | 幹事長 | 阿部 信行 |
| | | 副幹事長 | |
| 昭32卒 | 7 | 幹事長 | 瀬川 哲男 |
| 昭33卒 | 8 | 幹事長 | 山本 昌史 |
| 昭34卒 | 9 | 幹事長 | 鈴木 紀明 |
| 昭35卒 | 10 | 幹事長 | 中村 秀雄 |
| | | 副幹事長 | 中辻 透 |
| 昭36卒 | 11 | 幹事長 | 谷中 則親 |
| 昭37卒 | 12 | 幹事長 | 平賀 久靖 |
| | | 副幹事長 | 細谷美代子 |
| 昭38卒 | 13 | 幹事長 | 石田 邦光 |
| 昭39卒 | 14 | 幹事長 | 城 章一 |
| 昭40卒 | 15 | 幹事長 | 横山 直史 |
| 昭41卒 | 16 | 幹事長 | 廣田 秀美 |
| | | 副幹事長 | 斉藤佐智枝 |
| 昭42卒 | 17 | 幹事長 | 加藤 修 |
| | | 副幹事長 | 大川 孝一 |
| | | 副幹事長 | 石田由美子 |
| 昭43卒 | 18 | 幹事長 | 庄司 和晴 |
| | | 副幹事長 | 池田 定博 |
| 昭44卒 | 19 | 幹事長 | 植村 俊幸 |
| | | 副幹事長 | 鳴海 範子 |

| 卒業年度 | 期 | 役職名 | 氏名 |
|------|----|-----|-------|
| 昭45卒 | 20 | 幹事長 | 林 仁彦 |
| 昭46卒 | 21 | 幹事長 | 石田 悟 |
| 昭47卒 | 22 | 幹事長 | 菊地 一孝 |
| 昭48卒 | 23 | 幹事長 | 青山 隆之 |
| 昭49卒 | 24 | 幹事長 | 小泉 英一 |
| 昭50卒 | 25 | 幹事長 | 山内 一頼 |
| 昭51卒 | 26 | 幹事長 | 煙山 泰也 |
| 昭52卒 | 27 | 幹事長 | 野村 寛 |
| 昭53卒 | 28 | 幹事長 | 持丸 昭郎 |
| 昭54卒 | 29 | 幹事長 | 今宮 克明 |
| 昭55卒 | 30 | 幹事長 | 原田 一志 |
| 昭56卒 | 31 | 幹事長 | 西分 健二 |
| 昭57卒 | 32 | 幹事長 | 澤田 俊哉 |
| 昭58卒 | 33 | 幹事長 | 久保 友孝 |
| 昭59卒 | 34 | 幹事長 | 飛弾野文彦 |
| 昭60卒 | 35 | 幹事長 | 児玉 賢一 |
| 昭61卒 | 36 | 幹事長 | 江洲 賢一 |
| 昭62卒 | 37 | 幹事長 | 高田 和憲 |
| 昭63卒 | 38 | 幹事長 | 武田 要 |
| 平1卒 | 39 | 幹事長 | 大柳 智裕 |
| 平2卒 | 40 | 幹事長 | 富樫 明樹 |
| 平3卒 | 41 | 幹事長 | 村田 朋輝 |
| 平4卒 | 42 | 幹事長 | 細山 崇 |
| 平5卒 | 43 | 幹事長 | 佐藤 誉博 |
| 平6卒 | 44 | 幹事長 | 今村 速人 |
| 平7卒 | 45 | 幹事長 | 青葉 拓哉 |
| 平8卒 | 46 | 幹事長 | 上北 泰志 |
| 平9卒 | 47 | 幹事長 | 長町 康隆 |
| 平10卒 | 48 | 幹事長 | 松井 智弘 |
| 平11卒 | 49 | 幹事長 | 池田 譲治 |
| 平12卒 | 50 | 幹事長 | 阿部 好幸 |
| 平13卒 | 51 | 幹事長 | 宇井 辰徳 |
| 平14卒 | 52 | 幹事長 | 大友 健司 |
| 平15卒 | 53 | 幹事長 | 野田 仁哉 |
| 平16卒 | 54 | 幹事長 | 楠美 拓也 |

| 卒業年度 | 期 | 役職名 | 氏名 |
|------|----|------|-------|
| 平17卒 | 55 | 幹事長 | 北川 智貴 |
| 平18卒 | 56 | 幹事長 | 和賀 裕則 |
| 平19卒 | 57 | 幹事長 | 福森 翔太 |
| 平20卒 | 58 | 幹事長 | 川西 雄太 |
| 平21卒 | 59 | 幹事長 | 泉澤 知宏 |
| 平22卒 | 60 | 幹事長 | 和賀 俊太 |
| 平23卒 | 61 | 幹事長 | 島田 沙理 |
| | | 副幹事長 | 佐藤 公耶 |
| 平24卒 | 62 | 幹事長 | 丸尾 秀樹 |
| | | 副幹事長 | 平岡はるな |
| 平25卒 | 63 | 幹事長 | 東崎 千晶 |
| | | 副幹事長 | 吉澤 圭祐 |
| 平26卒 | 64 | 幹事長 | 渡辺 悠介 |
| | | 副幹事長 | 金子ちひろ |
| 平27卒 | 65 | 幹事長 | 古屋 龍 |
| | | 副幹事長 | 下原みのり |
| 平28卒 | 66 | 幹事長 | 吉野竜太郎 |
| | | 副幹事長 | 田口 春香 |
| 平29卒 | 67 | 幹事長 | 白崎 優太 |
| | | 副幹事長 | 三井 沙耶 |
| 平30卒 | 68 | 幹事長 | 倉橋 高矢 |
| | | 副幹事長 | 井上 遥葉 |
| 平31卒 | 69 | 幹事長 | 中谷 紫温 |
| | | 副幹事長 | 水野 花菜 |
| 令2卒 | 70 | 幹事長 | 櫻井 健太 |
| | | 副幹事長 | 中川 弥乃 |
| 令3卒 | 71 | 幹事長 | 五十嵐駿征 |
| | | 副幹事長 | 川崎帆乃花 |
| 令4卒 | 72 | 幹事長 | 矢澤 未侑 |
| | | 副幹事長 | 片山 壮大 |
| 令5卒 | 73 | 幹事長 | 六車 奏人 |
| | | 副幹事長 | 山崎 美晴 |

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自宅】 〒071-0528 空知郡上富良野町東8線北18号1番地22 水口 貴浩
 携帯電話090-6266-9576

【勤務先】 東中郵便局 TEL0167-45-2902

当番期



第57回 同窓会実行委員長
上北 泰志
(北高 46期)

第57回旭川北高等学校同窓会総会・懇親会の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。ご来場いただきました皆様、会券をお買い上げいただきました皆様、広告協賛にご協力いただきました皆様、本当に多くの皆様方のおかげで本会を開催できましたこと、心よりお

礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年前から同窓会総会・懇親会は中止を余儀なくされてきました。昨年より多くの先輩方から「来年こそは開催してほしい!」との声を受け、私たち46期は当番期として手探りの中、準備を進めてきました。

昨年10月に前当番期より引き継ぎを受け、コロナ禍でのスタートとなり同期を集めることから苦労しましたが、SNSなどで声をかけ合い実行委員会を立ち上げました。快く引き受けてくれたメンバ

ーには、忙しい中、時間を割いて準備のために全力を尽くしてくれ、無事開催にたどり着くことができました。卒業してから二十数年の時が経ちましたが素晴らしい仲間と再会し、一生に一度の北高同窓会実行委員という貴重な経験をさせていただきました。

今回のキャッチコピーであります「ここに再び。」は、4年ぶりの同窓会総会・懇親会の「再開」と、同窓生の皆様方との「再会」を喜び合いたいとの想いを込めて決定しました。

今回の運営にあたり、同窓会本部役員の皆様、各期幹事長の皆様をはじめ、多くの諸先輩の皆様方からたくさん温かいお言葉と、多大なるご支援ご協力をいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

最後になりますが、旭川北高並びに旭川北高同窓会の益々のご発展、在校生と同窓生の皆様方のご健康とご活躍を心より祈念し、また、次期当番期へのご支援も重ねてお願い申し上げます。当番期代表としての挨拶とさせていただきます。

次期当番期



第58回 同窓会実行委員長
長町 康隆
(北高 47期)

新型コロナウイルスの蔓延によって途切れていました旭川北高等学校同窓会の総会・懇親会が4年ぶりに開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

今回の開催につきましては、実行委員会の皆様が約一年前から準備を進められておりました。4年ぶりともなりますと、前回実行委員会との引継ぎが困難であったり、

決めなければならないことや見直しをすること等が多岐に渡り大変ご苦労されたようです。それを目の当たりにしながら、来年当番期である私達は無事開催ができるのだろうかとたたいま不安な思いで頭がいっぱいです。

思い起こせば27年前、早々に進路が決まっていた私と各クラスから1名ずつが、ある教室に集められ「45才頃に同窓会があるからその幹事長を決めてもらいます。話し合ってください」と担当の先生からざっくりとした説明がありました。

重々しい空気の中、長い沈黙が嫌だったのと早く帰りたい(遊

びたかった?)私はいよいよ。俺やるよ」と深く考えることなく言うてしまいました。卒業後に同窓会から送られてくる会議や懇親会の資料に目を通すと「これは大変なことを引き受けてしまった」と愕然とした覚えがあります。それから今までずっと頭の中で「あと20年か」「あと10年か」とカウントダウンをしながら、とうとうあと1年になってしまいました。

幸いにも今回の実行委員長である上北さんとは高校時代から親しくしていたり、手取り足取り色々なことを教えてくださいますので大変心強いです。

今年1月に上北さんからお誘い

があり、初めて同窓会の幹事長会議に参加させていただきました。緊張しつつ、歳の近い先輩との会話をしながら「何色のジャージだった?」「担任の先生は?」「ポケベル派?PHS派だった?」と共通の話題があり、一気に高校時代の光景が目には浮かびました。最終学歴が北高卒の私にとってその光景が青春です。

同窓会総会・懇親会の開催、会誌の作成等、携わることには責任重大で緊張感がありますが、同時に同窓の皆様とお会いできることが今からとても楽しみとなりました。

旭川北高同窓会 公式ウェブサイト

<https://www.kitako-dousou.com/>

